

版 權 取 齊

藤田治明先生編纂

蠶頭

戶籍法

註釋

競賣法

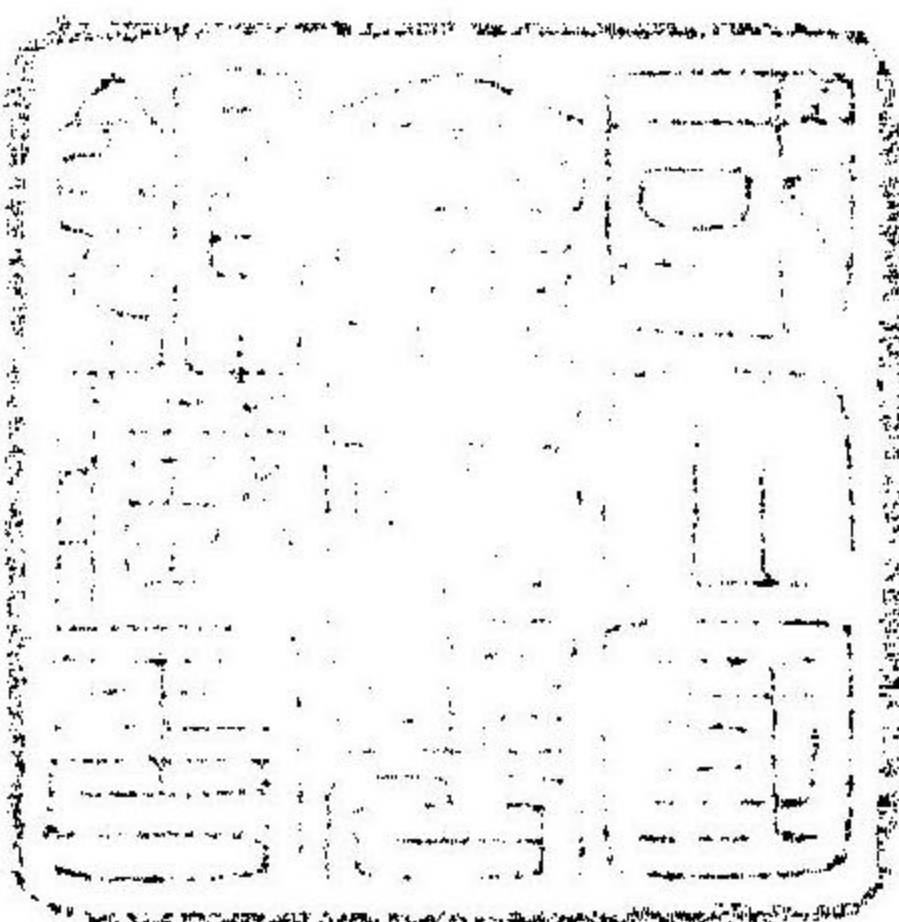
俗解

全

東京

松成堂發兌

54, 511705k



第一章 戸籍及戸籍役場

第一條 戸籍及身分登記ノ事務ハ戸籍吏ガ職務トシテ戸籍役場ニ於テ取扱フコトトスルハ戸籍吏トハ戸籍法ニヨリ定メラレタル一ノ公吏名ナリ一ノ公吏トハ預カリ司管掌トハ預カリ司管掌トルチ云フ

朕帝國議會ノ協賛ヲ經タル戸籍法ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

明治三十一年六月十五日

内閣總理大臣 侯爵 伊藤博文
内務大臣 子爵 芳川顯正
司法大臣 曾禰荒助

法律第十二號 戸籍法

- 第一章 戸籍吏及ヒ戸籍役場
- 第二章 身分登記簿
- 第三章 登記手續
- 第四章 身分ニ關スル届出
- 第一節 通則
- 第二節 出生
- 第三節 嫡出子否認
- 第四節 私生子認知
- 第五節 養子縁組
- 第六節 養子離縁
- 第七節 婚姻



337000

指示シタルモノナ
リ他ノ吏員トハ
市町村ノ他ノ公吏
ヲ云フナリ
第四章 第一條
第二一六條參看
第五條 監督トハ
監督トテ取締
リスルヲ云フ
司法行政ノ監督ニ關
スル規定トハ司法
行政施行上ノ監督
ニ係ル諸規程ヲ云
フ準用トハナソラ
ヘ用ユルトテ即チ
適用スルナリ
第六條 戶籍吏カ
故意ニ又ハ甚ダシ
キ過誤ノ爲メニ損
害ヲ蒙ラセタルハ
ハ之ヲ償ヒ賠ス費
ヲ負フモノトス
第二章 身分登記
簿
第七條 非本籍人
トハ寄留者其他本
籍者ニアラサルモ

第八節 離婚
第九節 後見
第十節 隱居
第十一節 失踪
第十二節 死亡
第十三節 家督相續
第十四節 推定家督相續人ノ廢除
第十五節 家督相續人ノ指定
第十六節 入籍、離籍及ヒ復籍拒絶
第十七節 廢家及ヒ絶家
第十八節 分家及ヒ廢絶家再興
第十九節 國籍ノ得喪
第二十節 氏名及ヒ族稱ノ變更
第二十一節 身分登記ノ變更
第五章 戶籍簿
第六章 戶籍ノ記載手續
第七章 戶籍ニ關スル届出
第八章 抗告

第九章 罰則
附則

ノヲ云フ
第四章ノ第二節出
生ヨリ第二一節身
分登記ノ變更迄每
節別冊ニ製スルモ
ノトスルモ事件ノ
少キモノハ便宜或
ハ二節ヲ合シテ一
冊ト爲スチ得ルナ
リ合綴トハ合セ
綴ルコト即チ合本
ニ爲スコトナリ
第九條 監督官ト
ハ區裁判所一人ノ
判事又ハ監督判事
ヲ云フ第五條參看
契印トハ割印ニシ
テ職印トハ役印ナ
リ
第十一條 永久ト
ハ年限ヲ限ラサル
コトナリ
第十二條 事變ト
ハ火水震災等ノ變
災ヲ云フナリ
登記中ノ帳簿ハ豫審
判事ノ命アルモ役

戶籍法
第一章 戶籍吏及ヒ戶籍役場
第一條 戶籍及ヒ身分登記ニ關スル事務ハ戶籍吏之ヲ管掌シ戶籍役場ニ於テ之ヲ取
扱フ
第二條 市町村長ヲ以テ戶籍吏トス但區ヲ置キタル市ニ於テハ區長ヲ以テ之ニ充ツ
ルコトヲ得
第三條 戶籍吏又ハ之ト家ヲ同シクスル者ノ戶籍又ハ身分登記ニ關スル事件ニ付テ
ハ市町村長又ハ區長ノ事務ヲ代理スヘキ者戶籍吏ノ職務ヲ行フ
戶籍吏又ハ之ト家ヲ同クスル者ト前項ノ規定ニ依リ戶籍吏ノ職務ヲ行フヘキ者又
ハ之ト家ヲ同クスル者トノ戶籍又ハ身分登記ニ關スル事件ニ付テハ市ニ在リテハ
市參事會員ノ一人、町村又ハ區ニ在リテハ他ノ吏員ノ上席者戶籍吏ノ職務ヲ行フ
第四條 戶籍役場ハ市役所又ハ町村役場ヲ以テ之ニ充ツ但區長ヲ以テ戶籍吏ニ充ツ
ル場合ニ於テハ區役所ヲ以テ之ニ充ツ
第五條 戶籍及ヒ身分登記ニ關スル事務ハ戶籍役場ノ所在地ヲ管轄スル區裁判所ノ
一人ノ判事又ハ監督判事之ヲ監督ス
戶籍及ヒ身分登記ニ關スル事務ノ監督ニ付テハ司法行政ノ監督ニ關スル規定ヲ準

場外ニ持出スヲ得
サルモノトス
第十三條 閱覽ト
ハ展キ見ルコトナ
リニ謄本トハ事件
ノ全部ヲ寫シタル
モノヲ云ヒ抄本ト
ハ一部分ヲ摘寫シ
タルモノヲ云フ
第十四條 滅失ト
ハ火災ニテ焼燼シ
又ハ水災ニテ流失
シタル等ヲ云フ一
全部滅失シタル并
ハ再製シ一部滅失
シタル并ハ其滅失
シタル部分ヲ補ヒ
完フスルナリ
第三章 登記手續
第十五條 此條ハ
身分登記ヲ爲ス場
合ヲ示シタルモノ
ナリ一證書ノ謄本
トハ第六十條ノ未
項ニ示シタル謄本
ヲ云ヒ航海日誌ノ
謄本トハ第七十八

條ニ示シタルモノ
ヲ云フ一變更トハ
換ヘ改ムルヲ言フ
ナリ
第十六條 本法ノ
規定トハ此戶籍法
ニ定メタル諸規定
ヲ云フ
第十九條 相當ノ
登記簿トハ第七條
ニ從テ各別ニ製シ
タル簿冊ノ内其事
件ニ相當スルモノ
ヲ云フ
第二十條 被登記
者トハ登記セラル
ルモノヲ云フ一交
互參考ノ符號トハ
彼此互ニ照リ合セ
テ見易カラシムル
爲メノ目印ヲ云フ
ナリ
第二十二條 航海日
誌ノ謄本ハ第七十
八條證書ノ謄本ハ
第六十條ニ就テ見
ルヘシ申請ハ申

用ス
第六條 戶籍吏カ其職務ノ執行ニ付キ届出人其他ノ者ニ損害ヲ加ヘタルトキハ其損
害カ戶籍吏ノ故意又ハ重大ナル過失ニ因リテ生シタル場合ニ限リ之ヲ賠償スル責
ニ任ス
第二章 身分登記簿
第七條 身分登記簿ハ本籍人身分登記簿及ヒ非本籍人身分登記簿ノ二種トシ各正副
二本ヲ備フ
各種ノ登記簿ハ第四章第二節乃至第二十一節ニ掲ケタル届出事件ノ區別ニ從ヒ各
別冊ト爲ス但便宜ニ依リ之ヲ合綴スルコトヲ得
第八條 身分登記簿ハ一年毎ニ之ヲ編製ス
第九條 戶籍吏ハ豫メ翌年ノ身分登記簿ト爲スヘキ帳簿ヲ作り監督官ノ契印ヲ請フ
コトヲ要ス
監督官カ帳簿ノ送付ヲ受ケタルトキハ職印ヲ以テ毎葉ノ綴目ニ契印シ表紙ノ裏面
ニ其枚數ヲ記シ職氏名ヲ署シ職印ヲ押捺シテ之ヲ戶籍吏ニ還付スルコトヲ要ス
第十條 身分登記簿ノ用紙カ不足ナルトキハ戶籍吏ハ更ニ帳簿ヲ作りテ契印ヲ請フ
コトヲ要ス
第十一條 身分登記簿ノ正本ハ永久ニ之ヲ戶籍役場ニ保存スルコトヲ要ス
登記ヲ終結シタル身分登記簿ノ副本ハ遲滞ナク之ヲ監督區裁判所ヲ管轄スル地方

裁判所ニ納付スルコトヲ要ス
地方裁判所ハ其納付ヲ受ケタル身分登記簿ノ副本ヲ永久ニ保存スルコトヲ要ス
第十二條 身分登記簿ハ事變ヲ避クル爲メニスル場合ヲ除ク外之ヲ戶籍役場外ニ持
出スコトヲ得ス但登記ヲ終結シタル登記簿ニ付キ裁判所又ハ豫審判事ノ命令アリ
タルトキハ此限ニ在ラス
第十三條 何人ト雖モ手数料ヲ納付シテ身分登記簿ノ閱覽又ハ登記ノ謄本若クハ抄
本ノ交付ヲ請求スルコトヲ得
謄本又ハ抄本ノ交付ヲ請求スル者アルトキハ戶籍吏之ヲ作り原本ト相違ナキ旨ヲ
附記シ職氏名ヲ署シ職印ヲ押捺シテ之ヲ交付スルコトヲ要ス
手数料ノ外郵送料ヲ納付シテ謄本又ハ抄本ノ交付ヲ請求スル者アルトキハ戶籍吏
之ヲ送付スルコトヲ要ス
戶籍吏カ閱覽又ハ交付ノ請求ヲ許ササル場合ニ於テハ書面ヲ以テ其旨ヲ請求者ニ
告知スルコトヲ要ス
第十四條 身分登記簿ノ全部又ハ一部カ滅失シタルトキハ司法大臣ハ其旨ヲ告示シ
且身分登記簿ノ再製又ハ補完ニ付キ必要ナル處分ヲ命スルコトヲ要ス
第三章 登記手續
第十五條 身分登記ハ左ノ場合ニ於テ之ヲ爲ス
一 戶籍吏カ身分ニ關スル届出ヲ受ケ又ハ其届書ノ送付ヲ受ケタルトキ

五

シ請フトテ願ノ意
ヲ含ミ請求ハ請ヒ
求ムルトテ少シク
當然ナリトノ意ヲ
含ムモノナリ
第廿三條 第七條
ニ於テ帳簿ハ各別
ニ製セラレタル者
ナルガ故ニ事件ガ
二箇以上ナルハハ
一件ツツ引分ケテ
別々ニ登記スルモ
ノトスレバ新ル場
合ニハ各シテ各只
必要ナル事柄ノミ
ヲ記載シテ互ニ見
合スノ目印ヲ附ケ
置クモノトス
第廿四條 目的タ
ル登記トハ取消ス
ヘキ事件ノ登記ヲ
云フ「抹消トハ塗
リ消スナリ
第廿五條 基本タ
ル裁判ノ趣旨トハ
變更ノ基キタル裁
判ノ趣旨ヲ云フ+

第廿七條 國籍ノ
喪失トハ日本國民
タルノ籍ヲ失フヲ
云フ「第一六〇條
第一六二條參看
第廿八條 航海日
誌ノ製作者トハ艦
長又ハ船長ヲ云フ
第七八條參看
第廿九條 登記ハ
行草書ノ如キ崩シ
タル文字ヲ用ヒス
文畫ノ判然タル楷
書ヲ用フル等後日
錯乱紛雜ヲ生セサ
ル様ニ爲スヲ必要
トス「改竄トハ後
ニ畫ヲ増減スル杯
ヲ云フ
第三十條 目次ヲ
逐ヒトハ一日二日
ト日ヲ逐フヲ云ヒ
接續トハ接シ續ク
ヲ云フナリ
第三十三條 轉屬
トハ移リ附屬スル

二 戶籍吏カ身分ニ關スル報告ヲ受ケタルトキ
三 戶籍吏カ身分ニ關スル證書ノ謄本ヲ受ケ又ハ其謄本ノ送付ヲ受ケタルトキ
四 戶籍吏カ身分ニ關スル事項ヲ記載シルタ航海日誌ノ謄本ノ送付ヲ受ケルタ
トキ
五 戶籍吏カ登記ノ取消又ハ變更ノ申請若クハ請求ヲ受ケタルトキ
六 戶籍吏カ登記ヲ爲スヘキ旨ノ裁判ヲ受ケタルトキ
第十六條 前條ニ掲ケタル場合ト雖モ届出、送付其他ノ手續カ本法ノ規定ニ依リタ
ルモノニ非サレハ登記ヲ爲スコトヲ得ス
第十七條 登記ハ法律ニ特別ノ規定アル場合ヲ除ク外之ヲ取消シ又ハ之ヲ變更スル
コトヲ得ス
第十八條 戶籍吏カ届出、報告其他登記ニ關スル書類ヲ受理シタルトキハ其書類ニ
受附ノ番號及ヒ年月日ヲ記載シ遲滞ナク登記ノ手續ヲ爲スコトヲ要ス
第十九條 登記ハ本籍人、非本籍人及ヒ登記ヲ爲スヘキ事件ノ區別ニ從ヒ相當ノ登
記簿ニ之ヲ爲スコトヲ要ス
第二十條 被登記者ノ本籍カ届出其他ノ事由ニ因リ戶籍吏ノ管轄ニ歸シ又ハ其管轄
ヲ離ルル場合ニ於テハ本籍人カ身分登記簿ニ登記ヲ爲スコトヲ要ス
一箇ノ登記ニシテ本籍人及ヒ非本籍人ニ關スルトキハ同時ニ本籍人カ身分登記簿及
ヒ非本籍人カ身分登記簿ニ登記簿ヲ爲シ各登記ノ欄外ニ交互參看ノ符號ヲ附記スルコ
トヲ要ス
第二十一條 被登記者ノ本籍カ分明ナラサルトキハ非本籍人カ身分登記簿ニ登記ヲ爲
スコトヲ要ス
第二十二條 登記ニハ第四章ノ規定ニ依リ届出、報告、申請若クハ請求ヲ爲シ又ハ
航海日誌ノ謄本ニ記載シタル事項ヲ記載スルコトヲ要ス
證書ノ謄本ニ依リテ爲ス登記ニハ其謄本ニ記載シタル事項ヲ記載スルコトヲ要ス
裁判ニ依リテ爲ス登記ニハ其裁判ヲ以テ命セラレタル登記事項ヲ記載スルコトヲ
要ス
第二十三條 登記ヲ爲スヘキ事實カ第四章第二節乃至第二十一節ニ掲ケタル届出事
件ノ二箇以上ニ涉ルトキハ各別ニ登記ヲ爲スコトヲ要ス
前項ノ登記ニハ各登記ニ付キ必要ナル事項ノミヲ記載シ各登記ノ欄外ニ交互參看
ノ符號ヲ附記スルコトヲ要ス
第二十四條 登記取消ノ登記ハ取消ノ申請又ハ請求ノ目的タル登記ノ欄外ニ之ヲ爲
シ原登記ヲ抹消スルコトヲ要ス
第二十五條 登記變更ノ登記ハ其目的タル登記ノ欄外ニ之ヲ爲シ且其申請ノ基本タ
ル裁判ノ趣旨ニ從ツテ原登記ヲ變更スルコトヲ要ス
第二十六條 本籍分明ナラサル者ノ登記ヲ爲シタル後其者ノ本籍カ分明ト爲リタル
旨ノ届出又ハ報告アリタルトキハ原登記ノ欄外ニ其登記ヲ爲スコトヲ要ス

ナ云フ
 第卅五條 管轄戸籍吏トハ被登記者ノ本籍地ノ戸籍吏ナリ
 第卅六條 本籍ノ移轉トハ移シ換ヘルコト即チ轉籍ヲ云フナリ
 第卅七條 編綴トハ編ミ綴ルコトニシテ別々ニ簿冊ト爲シ各本ニ目錄ヲ附ケ置クナリ
 第卅八條 監督區裁判所トハ第五條ニ示メセル區裁判所ヲ云フ「期間トハ年限ヲ云フナリ
 第卅九條 欄外登記トハ第廿四條ニヨリテ爲シタルモノヲ云フ
 第四十條 錯誤トハ間違テ云ヒ遺漏トハ書遺シ書漏ラシタルヲ云フ

第四十一條 年末トハ帳簿ノ用紙盡キタルトハ最終行ニ終リタル旨ヲ書シテ役印ヲ捺スナリ
 第四章 身分ニ關スル届出
 第一節 通則トハ此章ノ各條ニ通シテ適用スル概則ヲ云フ
 第四十三條 届出ハ書面ニテ爲スナリ
 通例トスレバ正當ノ理由アレハ口述ニテ爲スナリ得ルナリ「第五四條參看
 第四十四條 族稱トハ華土族平民ノ稱ヲ云フ
 第四十五條 續柄トハ身分上ノ關係ヲ云フ
 第四十六條 未成年者トハ年齢二十歳未満ヲ云ヒ「禁

本籍分明ト爲リタル者カ本籍人ナリシトキハ前項ノ規定ニ依ラス更ニ本籍人身分登記簿ニ登記ヲ爲シ其登記及ヒ前登記ノ欄外ニ交互參看ノ符號ヲ附記スルコトヲ要ス

前二項ノ登記ヲ爲シタル後其者ノ本籍ニ付キ更ニ届出又ハ報告アリタルトキハ届出又ハ報告アリタルコト及ヒ其年月日ヲ登記ノ欄外ニ記載スルヲ以テ足ル

第二十七條 日本ノ國籍ヲ失ヒタル者カ國籍喪失ノ届出ヲ爲サザリシトキハ戸籍吏ハ戸籍役場ノ所在地ヲ管轄スル區裁判所ノ許可ヲ得テ國籍喪失ノ登記ヲ爲スコトヲ要ス

第二十八條 登記ニハ第二十二條ニ規定シタルモノノ外左ノ事項ヲ記載スルコトヲ要ス

一 届出又ハ申請ノ受附ノ年月日但其他ノ戸籍吏又ハ官廳ヨリ届書ノ送付ヲ受ケタル場合ニ於テハ發送者ノ官職、氏名及ヒ發送ノ年月日ヲ併記スルコトヲ要ス

二 報告又ハ請求ノ發送及ヒ受附ノ年月日並ニ報告者又ハ請求者ノ官職、氏名

三 證書又ハ航海日誌ノ謄本ノ發送及ヒ受附ノ年月日並ニ證書又ハ航海日誌ノ複製者及ヒ謄本發送者ノ官職、氏名

四 登記ヲ命シタル裁判ノ年月日及ヒ裁判所ノ名

第二十九條 登記ヲ爲スニハ略字又ハ符號ヲ用弁ス字畫明瞭ナルコトヲ要ス

年月日時及ヒ年齢ヲ記スル數字ニハ一二三ノ字ヲ用弁スシテ壹貳參拾ノ字ヲ用ユルコトヲ要ス

文字ハ之ヲ改竄スルコトヲ得ス若シ訂正、挿入又ハ削除ヲ爲シタルトキハ其字數ヲ欄外ニ記載シ又ハ文字ノ前後ニ括弧ヲ附シ戸籍吏之ニ認印シ其削除ニ係ル文字ハ尙ホ明カニ讀得ヘキ爲メ字體ヲ存スルコトヲ要ス

第三十條 登記ハ特別ノ規定アル場合ヲ除ク外日次ヲ逐ヒ事件受附ノ順序ニ從ヒテ之ヲ爲シ一事件毎ニ番號ヲ附シ用紙ニ空行ヲ存セス前後ノ登記ヲ接續スルコトヲ要ス

第三十一條 戸籍吏ハ登記ヲ爲シタル毎ニ其文末ニ認印スルコトヲ要ス

第三十二條 欄外登記ヲ爲スヘキ場合ニ於テ用紙ニ餘白ナキトキハ掛紙ヲ以テ之ニ充ツルコトヲ得此場合ニ於テハ戸籍吏ハ職印ヲ以テ掛紙ト本紙トニ契印ヲ爲スコトヲ要ス

第三十三條 被登記者ノ本籍カ届出ニ因リテ戸籍吏ノ管轄ヨリ他ノ戸籍吏ノ管轄ニ轉屬スル場合ニ於テハ戸籍吏ハ登記ヲ爲シタル後遲滞ナク届書ノ正本ヲ新管轄ノ戸籍吏ニ送付スルコトヲ要ス

被登記者ノ本籍カ他ノ戸籍吏ノ管轄ヨリ戸籍吏ノ管轄ニ轉屬スル場合ニ於テハ戸籍吏ハ登記ヲ爲シタル後遲滞ナク届書ノ副本ヲ舊管轄ノ戸籍吏ニ送付スルコトヲ要ス

治産者トハ瘋癲白痴等又ハ刑法ニヨリ自カラ治産スルヲ禁セラレタル者ヲ云ヒ親權トハ民法第五章ニ定ムルモノ無能力ノ原因トハ未成年ナレハ其コト又禁治産ナレハ其事實第四十七條 法定代理人トハ法律上ノ代理人云ヒ又禁治産者ガ爲スルハ其事務ノ如何ト並ニ其出來メエヲ解得スル丈ノ能力アルコトヲ証セル醫師ノ診斷書ヲ添ヘルヲ必要トスルナリ

第三十四條 被登記者ノ本籍カ届出ヲ受ケタル戸籍吏ノ管轄以外ニ於テ一ノ戸籍吏ノ管轄ヨリ他ノ戸籍吏ノ管轄ニ轉屬スル場合ニ於テハ其届出ヲ受ケタル戸籍吏ハ登記ヲ爲シタル後遲滞ナク届書ノ正本ヲ新管轄ノ戸籍吏ニ送付シ其副本ノ一通ヲ舊管轄ノ戸籍吏ニ送付スルコトヲ要ス

第三十五條 前二條ノ場合ヲ除ク外被登記者ノ本籍カ戸籍吏ノ管轄ニ屬セサルトキハ戸籍吏ハ登記ヲ爲シタル後遲滞ナク届書ノ正本ヲ管轄戸籍吏ニ送付スルコトヲ要ス

第三十六條 第三十三條及ヒ第三十四條ノ規定ハ届出以外ノ事由ニ因リ被登記者ノ本籍カ移轉スル場合ニ之ヲ準用ス

前項ノ場合ニ於テハ戸籍吏ハ其受附ケタル書面ノ謄本ヲ作り其謄本ヲ以テ届書ノ副本ニ代フルコトヲ要ス届出以外ノ事由ニ因リ登記ヲ爲シタル場合ニ於テ被登記者ノ本籍カ戸籍吏ノ管轄ニ屬セサルトキ亦同シ

第三十七條 登記ヲ爲シタルトキハ届書其他登記ニ關シテ受附ケタル書類ニ登記ノ番號及ヒ年月日ヲ記載シ登記簿ノ區別ニ從ヒ各別ニ之ヲ編綴シ且之ニ目錄ヲ附スルコトヲ要ス

第三十八條 前條ノ書類ハ一个月毎ニ遲滞ナク之ヲ監督區裁判所ニ送付シ監督區裁判所ハ之ヲ保存スルコトヲ要ス

書類ヲ保存スヘキ期間ハ司法大臣之ヲ定ム

第五十二條 届書モ登記簿ニ記載ヲ爲スト同様ニ字畫ヲ崩サレ等ノ規定ニ據ラシムルナリ

第五十五條 口頭ノ届出モ亦第四六條ノ規定ニ從フモノトス

第五十六條 總テ口頭ニテ爲ス届出ノ規定ハ同意承諾又ハ承認ノ証明ヲ爲サシムルモ之ヲ適用スルモノトス

第五十七條 法律規則上特ニ他官廳ノ許可ヲ要スル事アルハ其許可書ノ寫ヲ添付スルヲ必要トス

第五十九條 駐在トハ在任ヲ云フナリ

第六十條 本人歸

第三十九條 戸籍吏ハ登記ヲ爲シタル毎ニ登記ヲ爲スト同一ノ手續ニ依リ遲滞ナク其全文ヲ登記簿ノ副本ニ謄寫スルコトヲ要ス

登記簿ノ副本ヲ地方裁判所ニ送付シタル後欄外登記ヲ爲シタル場合ニ於テハ戸籍吏ハ遲滞ナク其登記ノ謄本ヲ作り職氏名ヲ署シ職印ヲ押捺シ之ヲ地方裁判所ニ送付スルコトヲ要ス

地方裁判所長ハ前項ノ規定ニ依リ送付ヲ受ケタル登記ノ謄本ヲ登記簿ノ副本中相當登記ノ欄外ニ貼付シ職印ヲ以テ謄本ト本紙トニ契印ヲ爲スコトヲ要ス

第四十條 登記ヲ爲シタル後其登記ニ付キ錯誤又ハ遺漏アルコトヲ發見シタルトキハ戸籍吏ハ遲滞ナク之ヲ届出人又ハ登記事件ノ本人ニ通知スルコトヲ要ス

第四十一條 戸籍吏ハ毎年末ニ於テ最終登記ノ次行ニ終結ノ旨ヲ記載シ職氏名ヲ署シ職印ヲ押捺スルコトヲ要ス

前項ノ規定ハ最終登記ヲ爲ス前登記簿ノ用紙ヲ用非盡シタル場合ニ之ヲ準用ス

第四章 身分ニ關スル届出

第一節 通則

第四十二條 身分ニ關スル届出ハ其届出人ノ本籍地ノ戸籍吏ニ之ヲ爲スコトヲ要ス但其届出人カ本籍地外ニ在ル場合ニ於テハ其所在地ノ戸籍吏ニ届出ヲ爲スコトヲ得

届出人カ本籍ヲ有セサルトキハ其届出ニ關シテハ所在地ヲ以テ本籍地ト看做ス

國トハ証書ヲ作ラシメタル本人ノ歸國ヲ云フ

第六十二條 起算トハ數ハ始ムルナリ

「届出義務者トハ届出ヲ爲スノ責メアル者ヲ云フ

第六十三條 過料トハ科料又ハ罰金ノ如キ刑法上ノ罰ニアラサルコトヲ示シタルモノナリ

催告トハ催カシ告クルコトニシテ督促ノ意義ナリ」第一二〇條、第二一條參看

第六十四條 其事件ノ管轄裁判所トハ其事件ノ種類ト輕重トニ從テ裁判權アル裁判所ヲ云フナリ

第二節 出生

第六十八條 出生前認知トハ民法第

八三一條ニヨリ胎内ニテノ認知ヲ云創立トハ新ニ一家ヲ立ルヲ云フ

第六十九條 嫡出子トハ妻カ婚姻シテ懷胎シタル子ヲ云フ民法第八二〇條第八三六條參看

第七十條 第七八條參看

第七十一條 此條ハ嫡出子又庶子ノ出生届ヲ爲スヘキ責任者ノ順序ヲ定メタルモノナリ

第七十三條 母カ違法再婚ノ結果其子ノ父ヲ裁判所ニテ定ムルハ父未定ノ旨ヲ記シテ母ヨリ届出ルヲ必要トス

第七十四條 管理人トハ其公設所ヲ支配スル人ヲ云フ

第七十五條 景況

第四十三條 届出ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ要ス但正當ノ事由アルトキハ届出人

ハ户籍吏ニ其理由ヲ陳述シ口頭ニテ届出ヲ爲スコトヲ得

第四十四條 届書ニハ左ノ事項ヲ記載シ届出人之ニ署名、捺印スルコトヲ要ス

一 届出事件

二 届出ノ年月日

三 届出人ノ族稱、職業、出生ノ年月日及ヒ本籍地

第四十五條 届出人ト届出事件ノ本人ト異ナルトキハ届書ニ其間ノ續柄ヲ記載スル

ヲ要ス

届出人カ家族ナルトキハ届書ニ戸主ノ氏名及ヒ届出人ト戸主トノ續柄ヲ記載スル

コトヲ要ス

第四十六條 届出ヲ爲スヘキ者カ未成年者又ハ禁治産者ナルトキハ親權ヲ行フ者又

ハ後見人ヲ以テ届出義務者トス

前項ノ場合ニ於テハ届出人ハ届書ニ左ノ事項ヲ記載スルコトヲ要ス

一 届出ヲ爲スヘキ者ノ氏名、族稱、出生ノ年月日及ヒ本籍地

二 無能力ノ原因

三 届出人カ親權ヲ行フ者又ハ後見人タルコト

第四十七條 前條ノ規定ハ無能力者カ其法定代理人ノ同意ヲ得スシテ爲スコトヲ得

ヘキ行爲ノ届出ニハ之ヲ適用セス

禁治産者カ届出ヲ爲ス場合ニ於テハ届書ニ届出人カ届出事件ノ性質及ヒ效果ヲ理

會スルニ足ルヘキ能力ヲ有スル者アルコトヲ證スヘキ醫師ノ診斷書ヲ添フルコト

ヲ要ス

第四十八條 證人ヲ要スル事件ノ届出ニ付テハ證人ハ届書ニ其證人タルコト 出生

ノ年月日、職業及ヒ本籍地ヲ記載シテ署名、捺印スルコトヲ要ス

第四十九條 届出人、届出事件ノ本人又ハ届出ノ證人カ本籍地外ニ在ルトキハ届書

ニ其所在地ヲ記載スルコトヲ要ス

第五十條 本法ノ規定ニ依リ届書ニ記載スヘキ事項中其事實ノ存セサルモノ又ハ知

レサルモノアルトキハ其旨ヲ記載スルコトヲ要ス但户籍吏ハ各届出事件ニ付キ特

ニ重要ト認ムル事項ヲ記載セサル届書ヲ受理スルコトヲ得ス

第五十一條 届書ニハ本法其他ノ法令ニ定メタル事項ニ非サレハ之ヲ記載スルコト

ヲ得ス

第五十二條 第二十九條ノ規定ハ届書ノ記載ニ之ヲ準用ス

第五十三條 本籍地ノ户籍吏ノ管轄地外ニ於テ届出ヲ爲ストキハ届書ハ正副二本ヲ

作ルコトヲ要ス

届出ニ因リ一人又ハ數人ノ本籍カ一ノ家ヨリ他ノ家ニ移轉スル場合ニ於テ兩家ノ

本籍地カ户籍吏ノ管轄ヲ異ニスルトキハ届書ハ正副二本ヲ作り届出地ト兩家ノ本

籍地トカ各户籍吏ノ管轄ヲ異ニスルトキハ正本一通副本二通ヲ作ルコトヲ要ス

籍地トカ各户籍吏ノ管轄ヲ異ニスルトキハ正本一通副本二通ヲ作ルコトヲ要ス

籍地トカ各户籍吏ノ管轄ヲ異ニスルトキハ正本一通副本二通ヲ作ルコトヲ要ス

籍地トカ各户籍吏ノ管轄ヲ異ニスルトキハ正本一通副本二通ヲ作ルコトヲ要ス

籍地トカ各户籍吏ノ管轄ヲ異ニスルトキハ正本一通副本二通ヲ作ルコトヲ要ス

籍地トカ各户籍吏ノ管轄ヲ異ニスルトキハ正本一通副本二通ヲ作ルコトヲ要ス

籍地トカ各户籍吏ノ管轄ヲ異ニスルトキハ正本一通副本二通ヲ作ルコトヲ要ス

トハ有様ナ云フ
變換トハ變リ更マ
ルナ云フ
第七十八條 航海
日誌トハ艦長又ハ
船長カ職務上航海
中必ス携フヘキ日
記帳ナ云フ
第三節 嫡出子否
認
第七十九條 嫡出
子否認ノ裁判トハ
民法第八二一條ノ
場合チ云フ第七三
條參看
第四節 私生子認
知
第八十條 民法第
八二七條乃至第八
二九條ヲ參看スヘ
シ
第八十一條 母ガ
家族ナルトハ母ガ
同居ノ親族ナルト
キチ云フ
第八十二條 此條
ハ成年ノ私生子又

ハ胎内ニ在ル子ノ
認知ヲ爲ス場合ナ
シ
第八十三條 民法
第八二九條第二項
ノ場合チ云フ「遺
言執行者トハ民法
第一〇八條ニ於
ケル委託ヲ受ケテ
遺言ノ事ヲ執行シ
テ行フ者チ云フ
第五節 養子縁組
第八十五條 當事
者トハ本人即チ縁
組ヲ爲ス當人チ云
フ「前養親トハ以
前ニ養ハレタル養
ヒ親チ云フ
第八十六條 養子
ガ十五歳未満ニシ
テ其父母ノ代リテ
縁組ノ承諾ヲ爲シ
タルハ其届出モ
其父母代リテ爲ス
ナリ
第八十七條 親族
會ハ民法第九四四

第五十四條 口頭ヲ以テ届出ヲ爲スニハ届出人ハ戶籍吏ノ面前ニ出頭シ其届出事件
ヲ陳述シ戶籍吏ハ直チニ其口述並ニ届出ノ年月日、届出人ノ氏名、出生ノ年月日、
職業及ヒ本籍地ヲ筆記シ之ヲ届出人ニ讀聞カセ且届出人ヲシテ之ニ署名捺印スル
コトヲ要ス
第五十五條 前條ノ規定ニ依リテ戶籍吏カ作ルヘキ書面ニハ届書ニ關スル規定ヲ準
用ス
第五十六條 第四十三條、第五十四條及ヒ前條ノ規定ハ届出事件ニ關スル同意、承
諾又ハ承認ノ證明ニ之ヲ準用ス
第五十七條 本法ニ別段ノ規定アル場合ノ外法令ノ規定ニ依リ届出事件ニ付キ官廳
ノ許可ヲ要スルトキハ届出人ハ届書ニ許可書ノ謄本ヲ添フルコトヲ要ス
第五十八條 届出人カ疾病其他ノ事故ニ因リ自ラ戶籍吏ノ面前ニ出頭スルコト能ハ
サルトキハ代理人ヲ差出タスコトヲ得
第五十九條 外國ニ在ル日本人ハ本法ノ規定ニ從ヒ其國ニ駐在スル日本ノ公使又ハ
領事ニ届出ヲ爲スコトヲ得
第六十條 外國ニ在ル日本人カ其國ノ法式ニ從ヒ届出事件ニ關スル證書ヲ作ラシメ
タルトキハ三ヶ月内ニ其國ニ駐在スル日本ノ公使又ハ領事ニ其證書ノ謄本ヲ差出
タスコトヲ要ス
日本ノ公使又ハ領事カ其國ニ駐在セザルトキハ本人歸國ノ後一ヶ月内ニ本籍地ノ

戶籍吏ニ證書ノ謄本ヲ差出スコトヲ要ス
第六十一條 前二條ノ規定ニ依リテ公使又ハ領事カ受取リタル届書又ハ證書ノ謄本
ハ其公使又ハ領事ヨリ三ヶ月内ニ之ヲ外務大臣ニ發送シ外務大臣ハ十日内ニ之ヲ
本人ノ本籍地ノ戶籍吏ニ發送スルコトヲ要ス
第六十二條 本法ニ定メタル届出期間ハ届出事件ノ發生シタル日ヨリ之ヲ起算ス
裁判確定ノ日ヨリ期間ヲ起算スヘキ場合ニ於テ届出義務者カ裁判ノ送達又ハ交付
ヲ受クル前裁判カ確定シタルトキハ其送達又ハ交付ヲ受ケタル日ヨリ之ヲ起算ス
第六十三條 本法ノ規定ニ依リ期間内ニ爲スヘキ届出ヲ怠リタル爲メ過料ニ處セラ
レタル者アルトキハ裁判所ハ遲滞ナク其者カ届出ヲ爲スヘキ地ノ戶籍吏ニ之ヲ通
知スルコトヲ要ス但戶籍吏ヨリ既ニ届出ヲ受理シタル旨ノ通知アリタル場合ニハ
此限ニ在ラス
戶籍吏カ前項ノ通知ヲ受ケタルトキハ届出義務者ニ對シ相當ノ期間ヲ定メ其期間
内ニ届出ヲ爲スヘキ旨ヲ催告スルコトヲ要ス
届出義務者カ前項ノ期間内ニ届出ヲ爲サザルトキハ戶籍吏ハ更ニ相當ノ期間ヲ定
メテ催告ヲ爲スコトヲ要ス爾後届出義務者カ戶籍吏ノ忠告ニ應セザルトキ亦同シ
第六十四條 戶籍吏カ其管轄内ニ本法ノ規定ニ違反シテ届出ヲ爲ササル者アルコト
ヲ知リタルトキハ遲滞ナク之ヲ其事件ノ管轄裁判所ニ通知スルコトヲ要ス
第六十五條 届出期間ヲ經過シタル後ニ届出ヲ爲シタル場合ト雖モ戶籍吏ハ其届出

條乃至第九五三條ニ規定セル如ク裁判所ノ招集ニ係リ其會員ハ裁判所ノ選定スルモノナリ
 第八十八條 民法第八四二條ノ規定トハ夫婦ノ一方ガ其意思ヲ表示スルコト能ハサル并他ノ一方ガ雙方ノ名義ヲ以テ爲シ得ルチ云フ
 第八十九條 民法第八四八條ノ規定トハ遺言ニヨリテ意思ヲ表示シタル場合ヲ云フ
 第九十一條 縁組ノ無効トハ民法第八五一條ノ第一號人違等ノ爲メ意思ナキトキ第二號當事者ヨリ縁組ノ届出ヲ爲サハルトキチ云フ
 第九十二條 無効

又ハ取消ノ裁判ガ確定シタル并ハ其訴ヲ爲シタル者ヨリ裁判言渡書ノ寫ヲ添ヘテ登記ノ取消ヲ請フヲ必要トス
 第九十四條 縁組ノ届出ハ代人ヲ以テ爲スヲ得ス
 第六節 養子縁組
 第九十五條 此條ハ縁組ノ届書ニ記載スヘキ諸件ヲ列示シタルモノナリ
 第九十六條 民法第八六二條ノ第二項ハ養子カ十五歳未満ナル并ハ縁組ヲ規定シタルナリ
 第九十七條 養親死亡後養子ヨリ縁組ヲ爲ス場合ニハ養子ヨリ届出ルノミニテ充分トス
 第九十八條 第八七條參看

ヲ受理スルコトヲ要ス

第六十六條 届出人ハ手数料ヲ納付シテ届出受理ノ證明書ヲ請求スルコトヲ得
 第六十七條 届出ニ關スル規定ハ登記ノ取消又ハ變更ノ申請ニ之ヲ準用ス

第二節 出生

第六十八條 子ノ出生アリタルトキハ十日内ニ左ノ諸件ヲ具シテ之ヲ届出ツルコトヲ要ス

- 一 子ノ名及ヒ男女ノ別
 - 二 子カ私生子ナルトキ又ハ出生前ニ認知セラレタル爲メ庶子ト爲リタル者ナルトキハ其旨
 - 三 出生ノ年月日時及ヒ場所
 - 四 父母ノ氏名、族稱、職業及ヒ本籍地但私生子ノ届出ニ付テハ母ノ氏名、族稱、職業及ヒ本籍地ノミヲ記載スルコトヲ要ス
 - 五 出生子ノ入ルヘキ家ノ戸主ノ氏名、族稱、職業及ヒ本籍地
 - 六 出生子カ一家ヲ創立スル者ナルトキハ其旨及ヒ創立ノ原因
 - 七 國籍ヲ有セサル者ノ子ナルトキハ其旨
- 第六十九條 嫡出子ノ出生ノ届出ハ出生地又ハ父母ノ本籍地若クハ寄留地ノ戸籍吏ニ之ヲ爲スコトヲ要ス
 庶子出生ノ届出ハ出生地又ハ父ノ本籍地若クハ寄留地ノ戸籍吏ニ之ヲ爲スコトヲ要ス

要ス但庶子カ父ノ家ニ入ルコトヲ得サル場合ハ此限ニ在ラス

私生子又ハ父ノ家ニ入ルコトヲ得サル庶子ノ出生ノ届出ハ出生地又ハ母ノ本籍地若クハ寄留地ノ戸籍吏ニ之ヲ爲スコトヲ要ス

第七十條 汽車又ハ航海日誌ヲ備ヘサル船舶中ニテ出生アリタル場合ニ於テハ其届出ニ付テハ到着地ヲ以テ出生地ト看做ス

第七十一條 嫡出子出生ノ届出ハ父ヨリ之ヲ爲シ父カ届出ヲ爲スコト能ハサル場合及ヒ民法第七百三十四條第一項、第二項但書ノ場合ニ於テハ母ヨリ之ヲ爲スコトヲ要ス

庶子出生ノ届出ハ父ヨリ之ヲ爲シ私生子出生ノ届出ハ母ヨリ之ヲ爲スコトヲ要ス

前二項ニ掲ケタル者ヨリ届出ヲ爲スコト能ハサル場合ニ於テハ左ニ掲ケタル者ハ其順序ニ從ヒ届出ヲ爲ス義務ヲ負フ

- 第一 戸主
- 第二 同居者
- 第三 分娩ニ立會ヒタル醫師又ハ産婆
- 第四 分娩ヲ介抱シタル者
- 同順位ノ届出義務者數人アルトキハ其中ノ一人ヨリ届出ヲ爲スヲ以テ足ル
- 第七十二條 夫ハ妻ノ子ノ嫡出ナルコトヲ否認セントスル場合ト雖モ前條第一項

第一百條 雜縁ノ
届出ハ代人ヲ以テ
爲スコトヲ得ス
第七節 婚姻
第一百二條 此條ハ
婚姻ノ届書ニ記載
ヲ要スル諸件ヲ列
示セルモノナリ第
八五條參看
第一百三條 第八十
七條ニ就テ見ルヘ
シ
第一百五條 婚姻ノ
無効ナルトキハ其
届書ニ事由ノ証明
書ヲ添ルヲ必要ト
ス
第一百六條 檢事ヨ
リ取消ノ訴ヲ起シ
タル場合ニハ其取
消ノ請求ハ檢事ヨ
リ爲スモノトス
第九二條參看
第一百八條 婚姻ノ
届出ハ代人ヲ以テ
爲スコトヲ得ス
第八節 離婚

第九九條 此條ハ
離婚ノ届書ニ記載
スヘキ事項ヲ列示
セルモノナリ
第一百十條 民法第
八〇九條ハ滿二十
五年ニ達セサル者
カ協議ノ上離婚ヲ
爲スニ付要スル同
意ヲ示シタルモノ
ナリ第九八條參
看
第一百三條 離婚
ノ届出ハ代人ヲ以
テ爲スコトヲ得ス
第九節 後見
第一百四條 此條
ハ民法第九〇〇條
ニ依リ後見開始ノ
アリタル時届出ヘ
キ諸件ヲ列示シタ
ルモノナリ後見
開始ノ原因トハ民
法第九〇〇條ノ一
號及二號ヲ云フ
第一百五條 更迭
トハ代ルヲ云フ

ノ規定ニ依リ出生ノ届出ヲ爲スコトヲ要ス
第七十三條 民法第八百二十一條ノ規定ニ依リ裁判所カ出生子ノ父ヲ定ムヘキトキ
ハ出生ノ届出ハ母ヨリ之ヲ爲スコトヲ要ス此場合ニ於テハ其届書ニ父ノ未定ナル
事由ヲ記載スルコトヲ要ス
父カ裁判ニ依リテ定マリタルトキハ其父ハ裁判確定ノ日ヨリ一ヶ月内ニ第六十八
條ニ掲ケタル諸件ヲ具シ裁判ノ謄本ヲ添ヘテ届出ヲ爲シ且第一項ノ届出ニ依リテ
爲シタル登記ノ取消ヲ申請スルコトヲ要ス
第七十四條 病院、監獄其他ノ公設所ニ於テ子ノ出生アリタル場合ニ於テ父又ハ母
ヨリ届出ヲ爲スコト能ハサルトキハ病院、監獄又ハ其他ノ公設所ノ長若クハ管理
人ヨリ出生ノ届出ヲ爲スコトヲ要ス
第七十五條 棄兒ヲ發見シタル者ハ二十四時内ニ其旨ヲ戶籍吏ニ届出ツルコトヲ要
ス
棄兒發見ノ届出アリタルトキハ戶籍吏ハ其兒ニ氏名ヲ命シ且之ニ附屬スル衣服、
物品、發見ノ場所、年月日時其他ノ景況並ニ其兒ノ出生ノ推定年月、氏名、男女
ノ別、引受人ノ氏名、職業、本籍地及ヒ所在地又ハ育兒院ノ稱號並ニ場所及ヒ
引渡ノ年月日ヲ調書ニ記載シテ之ヲ届書ニ添ヘ置クコトヲ要ス
引受人又ハ育兒院ニ變換アリタルトキハ雙方ヨリ十日内ニ其旨ヲ届出ツルコトヲ
要ス

第二項ノ調書ハ登記ニ付テハ之ヲ届書ト看做ス
第七十六條 棄兒ノ父又ハ母カ現出シテ其兒ヲ引取ルトキハ一ヶ月内ニ第六十八條
ノ届出ヲ爲シ且棄兒發見ノ登記ノ取消ヲ申請スルコトヲ要ス
第七十七條 出生又ハ棄兒發見ノ届出ヲ爲ササル前出生子又ハ棄兒カ死亡シタル
トキハ出生又ハ棄兒發見及ヒ死亡ノ届出ヲ爲スコトヲ要ス
第七十八條 航海中ニ子ノ出生アリタルトキハ艦長又ハ船長ハ二十四時内ニ乗船者
中ヨリ選ミタル證人ノ前ニ於テ第六十八條ニ掲ケタル諸件ヲ航海日誌ニ記載シ證
人ト共ニ署名、捺印シ且證人ノ出生ノ年月日、職業及ヒ本籍地ヲ記載スルコトヲ
要ス
前項ノ手續ヲ爲シタル後艦船カ日本ノ港ニ着シタルトキハ艦長又ハ船長ハ二十四
時内ニ其出生ニ關スル航海日誌ノ謄本ヲ其地ノ戶籍吏ニ送付スルコトヲ要ス
艦船カ外國ノ港ニ着シタルトキハ艦長又ハ船長ハ遲滞ナク其出生ニ關スル航海日
誌ノ謄本ヲ其國ニ駐在スル日本ノ公使又ハ領事ニ送付シ公使又ハ領事ハ三ヶ月内
ニ之ヲ外務大臣ニ發送シ外務大臣ハ十日内ニ之ヲ父母ノ本籍地ノ戶籍吏ニ發送ス
ルコトヲ要ス

第三節 嫡出子ノ否認
第七十九條 嫡出子否認ノ裁判カ確定シタルトキハ否認者ハ裁判確定ノ日ヨリ一
ヶ月内ニ左ノ諸件ヲ具シ裁判ノ謄本ヲ添ヘテ之ヲ届出テ且既ニ出生ノ登記ヲ爲シ

第一百十六條 指定ニ關スル遺言ノ謄本トハ遺言中後見人ノ指定ニ關スル部分ノ寫ヲ云フ
第一百十七條 任務終了トハ被後見人カ獨立シ權利ヲ行フヲ得ルニ至リタルトキ等ヲ云フ
第十節 隱居
第一百十九條 此條ハ隱居届書ニ記載スヘキ諸要件ヲ列示シタルモノナリ
第一百二十條 民法第七五三條ノ場合ヲ云フ
第一百二十一條 此條ノ第二項ハ有夫ノ女ノ主隱居ノ場合ヲ云フ
第一百二十二條 第一百六條第一百十一條ヲ參看スヘシ
第十一節 失踪
第一百二十三條 此

條ハ失踪届書ニ記載スル諸要件ヲ示シタルモノナリ
第十二節 死亡
第一百二十五條 死亡届ハ此條ノ一號乃至三號ノ件ヲ具シ之レニ病死ノハ醫師ノ診斷書又ハ檢察書與死若クハ他殺ノハ警察官ノ檢視調書ノ寫ヲ添ヘテ届出ルモノトス
第一百二十六條 第七十一條ヲ參看スヘシ
管理入トハ差配人ヲ云フ
第一百二十九條 診斷書ハ病中ヨリ醫師ノ診察ニヨルモノニシテ檢察書ハ死後醫師ノ檢案ニヨルモノナリ
第一百三十條 第一二五條、第七八條

タル者ニ付テハ登記ノ變更ヲ申請スルコトヲ要ス
一 子ノ名及ヒ男女ノ別
二 出生ノ年月日
三 否認ノ裁判カ確定シタル年月日

第四節 私生子認知

第八十條 私生子認知ノ届書ニハ左ノ諸件ヲ記載スルコトヲ要ス
一 子ノ名及ヒ男女ノ別
二 出生ノ年月日
三 死亡シタル子ヲ認知スル場合ニ於テハ死亡ノ年月日
四 父カ認知ヲ爲ス場合ニ於テハ母ノ氏名、職業及ヒ本籍地

前項第四號ノ場合ニ於テ母カ家族ナルトキハ其戸主ノ氏名、職業本籍地及ヒ其戸主ト母トノ續柄ヲ記載スルコトヲ要ス
第八十一條 民法第八百三十一條第一項ノ規定ニ依リテ認知ヲ爲ス場合ニ於テハ認知者ハ母ノ氏名、職業及ヒ本籍地ヲ具シテ其胎内ニ在ル子ヲ認知スル旨ヲ届出ツルコトヲ要ス

第八十二條 民法第八百三十條及ヒ第八百三十一條ノ規定ニ依リテ子、母又ハ直系卑屬ノ承諾ヲ要スル場合ニ於テハ届出人ハ届書ニ承諾ノ證書ヲ添ヘ又ハ承諾ヲ爲シタル者ヲシテ届書ニ承諾ノ旨ヲ附記シ之ニ署名、捺印セシムルコトヲ要ス

第八十三條 遺言ニ依リテ認知ヲ爲シタル場合ニ於テハ遺言執行者ハ遺言カ效力ヲ生シタル日ヨリ十日内ニ其認知ニ關スル遺言ノ謄本ヲ添ヘ前三條ノ規定ニ從ヒテ之ヲ届出ツルコトヲ要ス
遺言ニ依ル認知ノ届書ニハ認知者ノ死亡ノ年月日ヲ記載スルコトヲ要ス

第八十四條 胎内ニテ認知セラレタル子カ死體ニテ分娩シタルトキハ出生届出義務者ハ其事實ヲ知リタル日ヨリ一ヶ月内ニ認知ノ登記ノ取消ヲ申請スルコトヲ要ス
但遺言執行者カ認知ノ届出ヲ爲シタル場合ニ於テハ遺言執行者ヨリ登記ノ取消ヲ申請スルコトヲ要ス

第五節 養子縁組

第八十五條 縁組ノ届書ニハ左ノ諸件ヲ記載スルコトヲ要ス

- 一 當事者ノ氏名、出生ノ年月日、職業及ヒ本籍地
- 二 養子ノ實父母ノ氏名、職業及ヒ本籍地
- 三 當事者カ家族ナルトキハ戸主ノ氏名、職業及ヒ本籍地

養子カ婚家又ハ養家ヨリ更ニ縁組ニ因リテ他家ニ入ル場合ニ於テハ前項ニ掲ケタル事項ノ外婚家ノ戸主又ハ前養親ノ氏名、職業及ヒ本籍地ヲ記載スルコトヲ要ス
第八十六條 民法第八百四十三條ノ規定ニ依リテ縁組ノ承諾ヲ爲シタル者ハ養子ニ代ハリテ縁組ノ届出ヲ爲スコトヲ要ス

第八十七條 民法第七百四十一條第一項、第七百五十條第一項、第八百四十一條第

委員
 第三百三十一條 雖
 船死亡ノハ其取
 調ヲ爲シタル官廳
 又ハ公署ヨリ死亡
 ノ報告ヲ爲スモノ
 トス公署トハ浦役
 場等ヲ云フ
 第三百三十二條 認
 識シ能ハストハ見
 分ラメテ云フハ檢
 視調書トハ臨檢取
 調書ヲ云フ第一
 二六條參看
 第十三節 家督相
 續
 第三百三十三條 此
 條ハ家督相續届ニ
 具備ヲ要スル各件
 ナ示シタルモノナ
 リ「民法第九六四
 條參看
 第三百三十四條 家
 督相續ノ回復トハ
 家督相續ノ權ヲ失
 ヒタル者カ裁判ニ
 ヲリテ其權利ヲ取

戻シタルヲ云フ
 第三百三十五條 家
 督相續人カ胎兒ナ
 ルトハ民法ニヨリ
 胎兒ヲ相續人ト定
 メタル場合ヲ云フ
 民法第九百六十八
 條ヲ見ルヘシ
 第三百三十六條 胎
 兒カ死体ニテ生ト
 ハ死産ナルヲ云
 フ
 第十四節 推定家
 督相續人ノ廢除
 第三百三十七條 推
 定家督相續人ノ廢
 除トハ民法第九七
 五條ノ請求カ裁判
 ニ因テ確定シタル
 事ヲ云フ「民法第
 九七〇條參看
 第三百三十八條 其
 廢除カ遺言ノ意思
 ニ出タルハ遺言
 執行者ヨリ届出ヲ
 爲ス必要トス
 第三百三十九條 廢

二項及ヒ第八百四十三條乃至第八百四十六條ノ規定ニ依リ戸主、父母、配偶者、
 後見人又ハ親族會ノ同意ヲ要スル場合ニ於テハ届出人ハ届書ニ同意ノ證書ヲ添へ
 又ハ同意ヲ爲シタル者ヲシテ届書ニ同意ノ旨ヲ附記シ之ニ署名、捺印セシムルコ
 トヲ要ス

第八十八條 民法第八百四十二條ノ規定ニ依リ配偶者ノ一方カ雙方ノ名義ヲ以テ縁
 組ヲ爲ス場合ニ於テハ届出人ハ届書ニ其事由ヲ記載スルコトヲ要ス

第八十九條 民法第八百四十八條ノ規定ニ依リ縁組ノ届出ヲ爲ストキハ届書ニ第八
 十五條ニ掲ケタル諸件及ヒ遺言者ノ死亡ノ年月日ヲ記載シ且之ニ養子ニ關スル遺
 言ノ謄本ヲ添フルコトヲ要ス

第九十條 縁組ノ届出ハ養親ノ本籍地又ハ所在地ノ戸籍吏ニ之ヲ爲スコトヲ要ス

第九十一條 縁組カ無効ナルトキハ届出人ハ其無効ナル事由ノ證明書ヲ提出シテ登
 記ノ取消ヲ申請スルコトヲ要ス

第九十二條 縁組ノ無効又ハ取消ノ裁判カ確定シタルトキハ其訴ヲ提起シタル者
 ハ裁判確定ノ日ヨリ一ヶ月内ニ裁判ノ謄本ヲ提出シテ登記ノ取消ヲ申請スルコト
 ヲ要ス

第九十三條 第八十五條及ヒ第八十七條乃至第八十九條ノ規定ハ口頭ヲ以テ届出ヲ
 爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第九十四條 第五十八條ノ規定ハ縁組ノ届出ニハ之ヲ適用セス

第六節 養子縁組

第九十五條 縁組ノ届書ニハ左ノ諸件ヲ記載スルコトヲ要ス

- 一 當事者ノ氏名、職業及ヒ本籍地
 - 二 養子ノ實父母ノ氏名、職業及ヒ本籍地
 - 三 當事者カ家族ナルトキハ戸主ノ氏名、職業及ヒ本籍地
 - 四 縁組ノ年月日
 - 五 縁組カ協議又ハ裁判ニ因ルコト
 - 六 養子ノ妻カ養子ト共ニ養家ヲ去ルトキハ其旨及ヒ妻ノ名
 - 七 養子カ復籍スヘキ家ノ戸主ノ氏名、職業及ヒ本籍地
 - 八 養子カ復籍スヘキ家ナキトキハ其事由
- 第九十六條 民法第八百六十二條第二項ノ規定ニ依リテ縁組ヲ爲ス場合ニ於テハ養
 親及ヒ養子ニ代ハリテ協議ヲ爲シタル者ヨリ届出ヲ爲スコトヲ要ス
- 第九十七條 民法第八百六十二條第三項ノ規定ニ依リテ縁組ヲ爲ス場合ニ於テハ養
 子ヨリ届出ヲ爲スヲ以テ足ル
- 第九十八條 民法第八百六十二條第三項及ヒ第八百六十三條ノ規定ニ依リ戸主、父
 母、後見人又ハ親族會ノ同意ヲ要スル場合ニ於テハ届出人ハ届書ニ同意ノ證書ヲ
 添へ又ハ同意ヲナシタル者ヲシテ届書ニ同意ノ旨ヲ附記シ之ニ署名、捺印セシム
 ルコトヲ要ス

除ノ取消カ確定シタルハ取消ヲ請ヒシ者ヨリ前登記ノ取消ヲ申出スチ必要トス
 第十五節 家督相續人ノ指定
 第四百十條 指定家督相續人トシテ言ヲ以テ指定セラレタル相續人チ云フ
 第四百十一條 民法第九八一條參看
 第四百十二條 此條ハ家督相續人指定ノ取消届ニ記載ヲ要スル事項ヲ定メタルナリ
 第四百十四條 遺言指定ノ取消届ニハ前條ノ外尙遺言中ノレニ關スル寫ヲ添フチ必要トス
 第四百十五條 指定ノ效力ヲ失ヒタルトキハ指定者ヨリ其届出ヲ爲スチ必要トス
 第十六節 入籍、離籍及復籍拒絕
 第四百十六條 親族關係トハ親族ノ續柄チ云フ
 第四百十九條 此條ハ一家ヲ立ル爲メ離籍スルルハ届方ヲ示シタルモノナリ
 第四百十條 戸主ガ以前ニ家族タリシモノ、復籍ヲ拒ント欲スルルハ届出要件「復籍ヲ拒マルヘキ者トハ復籍セント欲スル本人チ云フ
 第四百十一條 復籍ヲ拒マレ又ハ復籍スヘキ家ノ廢絶トナリタル爲メ復籍シ能ハサル者カ一家ヲ立ントスルハ此條ニ掲ケタ

第九十九條 離縁ノ裁判カ確定シタルトキハ其訴ヲ提起シタル者ハ裁判確定ノ日ヨリ十日内ニ裁判ノ謄本ヲ添ヘテ届出ヲ爲スコトヲ要ス
 第一百條 第九十五條及ヒ第九十八條ノ規定ハ口頭ヲ以テ届出ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス
 第七節 婚姻
 第一百二條 婚姻ノ届書ニハ左ノ諸件ヲ記載スルコトヲ要ス
 一 當事者ノ氏名、出生ノ年月日及ヒ本籍地
 二 父母ノ氏名、職業及ヒ本籍地
 三 當事者カ家族ナルトキハ戸主ノ氏名、職業及ヒ本籍地
 四 入夫婚姻又ハ婿養子縁組ナルトキハ其旨
 五 入夫婚姻ノ場合ニ於テ入夫カ戸主ト爲ラサルトキハ其旨
 六 婚姻ニ因リテ嫡出子タル身分ヲ取得スル庶子アルトキハ其名及ヒ出生ノ年月日
 當事者ノ一方カ婚家又ハ養家ヨリ更ニ婚姻ニ因リテ他家ニ入ル場合ニ於テハ前項ニ掲ケタル事項ノ外前婚家ノ戸主又ハ養親ノ氏名、職業及ヒ本籍地ヲ記載スルコトヲ要ス
 第一百三條 民法第七百四十一條第一項、第七百五十條第一項、第七百七十二條及ヒ第七百七十三條ノ規定ニ依リ戸主、父母、後見人又ハ親族會ノ同意ヲ要スル場合ニ於テハ届出人ハ届書ニ同意ノ證書ヲ添ヘ又ハ同意ヲ爲シタル者ヲシテ届書ニ同意ノ旨ヲ附記シ之ニ署名、捺印セシムルコトヲ要ス
 第一百四條 婚姻ノ届出ハ夫ノ本籍地又ハ所在地ノ戸籍吏ニ之ヲ爲スコトヲ要ス但入夫婚姻及ヒ婿養子縁組ナルトキハ妻ノ本籍地又ハ所在地ニ於テ其届出ヲ爲スコトヲ要ス
 第一百五條 婚姻カ無効ナルトキハ届出人ハ其無効ナル事由ノ證明書ヲ提出シテ登記ノ取消ヲ申請スルコトヲ要ス
 第一百六條 婚姻ノ無効又ハ取消ノ裁判カ確定シタルトキハ其訴ヲ提起シタル者ハ裁判確定ノ日ヨリ一个月内ニ裁判ノ謄本ヲ提出シテ登記ノ取消ヲ申請スルコトヲ要ス
 檢察力訴ヲ提起シタル場合ニ於テハ前項ノ規定ニ從ヒ檢察ヨリ登記ノ取消ヲ請求スルコトヲ要ス
 第一百七條 第一百二條及ヒ第一百三條ノ規定ハ口頭ヲ以テ届出ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス
 第一百八條 第五十八條ノ規定ハ婚姻ノ届出ニハ之ヲ適用セス
 第八節 離婚
 第一百九條 離婚ノ届書ニハ左ノ事項ヲ記載スルコトヲ要ス
 一 當事者ノ氏名、職業及ヒ本籍地

ル諸件ヲ具ヘテ届出ルヲ必要トス
第十七節 廢家及絶家
第百五十二條 廢家ヲ爲スニハ他ニ入ルヘキ家ナキ能ハス故ニ入ルヘキ家ノ戸主ノ氏名等ヲ届出シムルナリ
第百五十三條 絶家ノ家族ニシテ一家ヲ創立セル者ハ此條ノ届出ヲ爲スヲ必要トス
第十八節 分家及廢絶家再興
第百五十四條 分家ヲ爲スモノハ此條ニヨリ届出ヲ爲スヲ必要トス
第百五十五條 絶家再興者ハ此條ノ届出ヲ必要トス
第百五十六條 前二條ノ届出ヲ爲ス者ハ戸主同意ノ証

書ヲ添ヘ又ハ其旨ヲ附記シテ記名調印ヲ要ス
第十九節 國籍ノ得喪
第百五十七條 外國人が日本人トナリタルハモトノ國籍屆書ニ記載シ且ハ婚姻又ハ養子縁組ノトキハ内務大臣ノ許可書ヲ寫テ添ヘテ爲スヲ必要トス
第百五十八條 子が外國人ノ胤ニシテ認知ニヨリ日本人トナリタルハ其子ノ本國籍ヲ屆書ニ記載スヘク又其子ノ母カ外國人ナルハ母ノ國籍ヲ記載スルヲ必要トス
第百五十九條 外國人が日本ニ歸化シタルトキハ此條

- 二 父母ノ氏名、職業及ヒ本籍地
- 三 當事者カ家族ナルトキハ戸主ノ氏名、職業及ヒ本籍地
- 四 婚姻ノ年月日
- 五 離婚カ協議又ハ裁判ニ因ルコト
- 六 當事者カ復籍スヘキ家ノ戸主ノ氏名、職業及ヒ本籍地
- 七 當事者カ復籍スヘキ家ナキトキハ其事由
- 第百十條 民法第八百九條ノ規定ニ依リ父母、後見人又ハ親族會ノ同意ヲ要スル場合同意ノ旨ヲ附記シ之ニ署名、捺印セシムルコトヲ要ス
- 第百十一條 離婚ノ裁判カ確定シタルトキハ其訴ヲ提起シタル者ハ裁判確定ノ日ヨリ十日内ニ裁判ノ謄本ヲ添ヘテ届出ヲ爲スコトヲ要ス
- 第百十二條 第百九條及ヒ第百十條ノ規定ハ口頭ヲ以テ届出ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス
- 第百十三條 第五十八條ノ規定ハ離婚ノ届出ニハ之ヲ適用セス
- 第九節 後見
- 第百十四條 後見ノ開始アリタルトキハ後見人ハ就職ノ日ヨリ十日内ニ左ノ諸件ヲ具シテ之ヲ届出ツルコトヲ要ス
- 一 後見人ノ氏名、出生ノ年月日、職業、本籍地及ヒ住所

- 二 被後見人ノ氏名、出生ノ年月日、職業及ヒ本籍地
- 三 被後見人カ家族ナルトキハ戸主ノ氏名、職業及ヒ本籍地
- 四 後見開始ノ原因及ヒ年月日
- 五 後見人就職ノ年月日
- 第百十五條 後見人ノ更迭アリタルトキハ後任ノ後見人ハ其就職ノ日ヨリ十日内ニ前條ニ掲ケタル諸件及ヒ前任者ノ氏名ヲ具シテ之ヲ届出ツルコトヲ要ス
- 第百十六條 後見人カ遺言ヲ以テ指定セラレタル者ナルトキハ屆書ニ其指定ニ關スル遺言ノ謄本ヲ添フルコトヲ要ス
- 後見人カ親族會ニ於テ選任セラレタル者ナルトキハ屆書ニ其選任ニ關スル證明書ヲ添フルコトヲ要ス
- 第百十七條 後見人ノ任務カ終了シタルトキハ後見人ハ十日内ニ左ノ諸件ヲ具シテ之ヲ届出ツルコトヲ要ス
- 一 被後見人ノ氏名、出生ノ年月日、職業及ヒ本籍地
- 二 就職ノ年月日
- 三 任務終了ノ原因及ヒ年月日
- 後見人ノ任務カ其死亡ニ因リテ終了シタルトキハ前項ノ届出ハ後見監督人ヨリ之ヲ爲スコトヲ要ス
- 第百十八條 後見ニ關スル届出ハ被後見人ノ本籍地又ハ所在地ノ戸籍吏ニ之ヲ爲ス

337000

ニヨリテ届出ヲ爲スニ必要トス但本人ノミノ歸化ナルハハ届書ニ其旨ヲ記載スルナリ
 第百六十條 日本
 人タルノ籍ヲ失フ
 モノハ其以前ニ本
 條ノ届出ヲ爲スニ
 必要トス「新ニ取
 得スヘキ國籍トハ
 更ニ其國民トナル
 ヘキ國籍ヲ云フ
 第百六十一條 此
 條ハ日本ニ居住ス
 ルモノニ適用スル
 モノナリ
 第百六十二條 滿
 十七年以上ノ男子
 日本人タルノ籍ヲ
 失フトキハ届書ニ
 兵役ニ服シタルカ
 又ハ其義務ナキコ
 トノ証明書ヲ添フ
 ルニ必要トス又官
 職ヲ帶ル者ハ其長
 官ノ許可書ヲ添

フルヲ要ス
 第百六十三條 國
 籍回復トハ一トタ
 ヒ國籍ヲ失ヒシ者
 カ再ヒ國籍ヲ有ス
 ルヲ云フ
 第二十節 氏名及
 ヒ族稱ノ變更
 第百六十四條 舊
 姓ニ復シ又ハ改名
 シタル者ハ官廳ノ
 許可書ヲ添テ届出
 ルヲ要ス
 第百六十五條 華
 族トナリ又ハ華士
 族ノ稱ヲ失ヒタル
 者ハ辭令書又ハ許
 可書ヲ添ヘテ届出
 ルヲ要ス
 第百六十六條 分
 家、廢絶家再興又
 ハ處刑ニ因リテ族
 籍ヲ失ヒタルトキ
 ハ前條ノ届出ヲ爲
 スヲ要セス
 第二十一節 身分
 登記ノ變更

コトヲ要ス

第十節 隱居

第百十九條 隱居ノ届書ニハ左ノ諸件ヲ記載スルコトヲ要ス

- 一 隱居者ノ氏名、族稱、出生ノ年月日、職業及ヒ本籍地
- 二 家督相續人ノ名、出生ノ年月日、職業及ヒ家督相續人ト隱居者トノ續柄
- 三 隱居ノ原因

第百二十條 裁判所ノ許可ヲ得テ隱居ヲ爲ス場合ニ於テハ届出人ハ届書ニ裁判ノ臆本ヲ添フルコトヲ要ス

第百二十一條 隱居ノ届出人ハ届書ニ家督相續人ノ承認ノ證書ヲ添ヘ又ハ承認ヲ爲シタル者ヲシテ届書ニ其旨ヲ附記シ之ニ署名、捺印セシムルコトヲ要ス

前項ノ規定ハ民法第七百五十五條第二項ノ規定ニ依リ夫ノ同意ヲ要スル場合ノ届出ニ之ヲ準用ス

第百二十二條 隱居ノ取消ノ裁判カ確定シタルトキハ其訴ヲ提起シタル者ハ裁判確定ノ日ヨリ一个月内ニ裁判ノ臆本ヲ提出シテ登記ノ取消ヲ申請スルコトヲ要ス

第百二十三條 失踪ノ宣告アリタルトキハ其宣告ヲ請求シタル者ハ裁判確定ノ日ヨリ十日内ニ左ノ諸件ヲ具シ裁判ノ臆本ヲ添ヘテ之ヲ届出ツルコトヲ要ス

第十一節 失踪

一 失踪者ノ氏名、出生ノ年月日、職業及ヒ本籍地

二 失踪ノ宣告アリタル年月日

三 失踪者カ家族ナルトキハ戶主ノ氏名、族稱及ヒ戶主ト失踪者トノ續柄

第百二十四條 失踪ノ宣告ノ取消アリタルトキハ其取消ヲ請求シタル者ハ裁判確定ノ日ヨリ一ヶ月内ニ裁判ノ臆本ヲ提出シテ登記ノ取消ヲ申請スルコトヲ要ス

第十二節 死亡

第百二十五條 死亡者アリタルトキハ届出義務者カ其死亡ヲ知リタル日ヨリ五日内ニ左ノ諸件ヲ具シ醫師ノ診斷書若クハ檢察書又ハ警察官ノ檢視調書ノ臆本ヲ添ヘテ之ヲ届出ツルコトヲ要ス

- 一 死亡者ノ氏名、出生ノ年月日、男女ノ別及ヒ本籍地
- 二 死亡ノ年月日時及ヒ場所
- 三 死亡者カ家族ナルトキハ戶主ノ氏名、族稱及ヒ戶主ト死亡者トノ續柄

前項ノ届出期間ハ衛生ノ爲メ特別ノ必要アルトキハ命令ヲ以テ之ヲ短縮スルコトヲ得

第百二十六條 左ニ掲ケタル者ハ其順序ニ從ヒ死亡ノ届出ヲ爲ス義務ヲ負フ

- 第一 戶主
- 第二 同居者
- 第三 家主、地主又ハ土地若クハ家屋ノ管理人

第百八十三條 卑
身主トハ獨リ身
ナル身主ト云フ
第百八十四條 此
條ハ一區町村内ノ
移轉ニ係ルモノナ
リ
第百八十五條 第
一七六條、第一八
〇條ノ二項ヲ參看
スヘシ
第百八十六條 戶
籍編製後ノ入籍者
ハ等親ノ順序ニ拘
ハラス末尾ニ記載
スルモノトス。是
レ記載手續ノ便宜
ヲ圖リタルモノナ
リ
第百八十八條 他
管ヨリ入籍ノ場合
ニハ舊戶籍吏へ通
知ヲ要スルコト
第百八十九條 他
管へ轉籍ノ爲除籍
スルトキハ轉籍ス

ヘキ地ノ戶籍吏ニ
リノ入籍通知ヲ待
チテ轉籍ノ抹消等
ヲ爲スヲ必要トセ
リ
第百九十二條 第
四十一條ヲ參看ス
ヘシ
第百九十三條 行
政區畫トハ郡區町
村區域等ヲ云フ
第百九十四條 第
十一條ヲ參看スヘ
シ
第七章 戶籍ニ關
スル届出
第百九十五條 他
管へ轉籍セントス
ルトキハ戶主ヨリ
此條ニ從テ届出ル
ヲ必要トス
第百九十六條 此
條ハ管轄内ノ轉籍
ヲ示ス
第百九十七條 關
連トハ届ケ洩レテ
云フ。復本籍トハ

以テ足ル

第百三十四條 家督相續回復ノ裁判カ確定シタルトキハ相續權ヲ回復シタル者ハ裁
判確定ノ日ヨリ一个月内ニ前條ニ掲ケタル諸件ヲ具シ裁判ノ謄本ヲ添ヘテ之ヲ届
出テ且前ニ爲シタル家督相續ノ登記ノ取消ヲ申請スルコトヲ要ス
第百三十五條 家督相續人カ胎兒ナルトキハ其母ハ相續ノ開始アリタルコトヲ知り
タル日ヨリ一个月内ニ左ノ諸件ヲ具シ醫師ノ診斷書ヲ添ヘテ家督相續ノ届出ヲ爲
スコトヲ要ス
一 相續開始ノ年月日
二 家督相續人ノ胎兒ナルコト
三 前戶主ノ名及ヒ前戶主ト家督相續人トノ續柄
第百三十六條 胎兒ヲ家督相續人トシテ届出テタル場合ニ於テ其胎兒カ死體ニテ生
レタルトキハ母ハ出産ノ日ヨリ一个月内ニ醫師又ハ出産ニ立會ヒタル産婆ノ檢案
書ヲ提出シテ家督相續ノ登記ノ取消ヲ申請スルコトヲ要ス
母カ登記取消ノ申請ヲ爲ササルトキハ家督相續人ハ其事實ヲ知リタル日ヨリ一个
月内ニ登記ノ取消ヲ申請スルコトヲ要ス
第十四節 推定家督相續人ノ廢除
第百三十七條 推定家督相續人廢除ノ裁判カ確定シタルトキハ被相續人ハ裁判確定一

ノ日ヨリ十日内ニ左ノ諸件ヲ具シ裁判ノ謄本ヲ添ヘテ之ヲ届出ツルコトヲ要ス
一 廢除セラレタル者ノ名、出生ノ年月日及ヒ職業
二 廢除ノ原因
三 廢除ノ裁判カ確定シタル年月日
第百三十八條 被相續人カ遺言ヲ以テ推定家督相續人ヲ廢除スル意思ヲ表示シタル
場合ニ於テ廢除ノ裁判カ確定シタルトキハ前條ノ届出ハ遺言執行者ヨリ之ヲ爲ス
コトヲ要ス
前項ノ場合ニ於テハ届書ニ被相續人ノ死亡ノ年月日ヲ記載スルコトヲ要ス
第百三十九條 推定家督相續人廢除ノ取消ノ裁判カ確定シタルトキハ其取消ヲ請求
シタル者ハ裁判確定ノ日ヨリ一个月内ニ裁判ノ謄本ヲ提出シテ登記ノ取消ヲ申請
スルコトヲ要ス
第十五節 家督相續人ノ指定
第百四十條 家督相續人指定ノ届書ニハ左ノ諸件ヲ記載スルコトヲ要ス
一 指定家督相續人タルヘキ者ノ氏名、族稱、出生ノ年月日、職業及ヒ本籍地
二 法定ノ推定家督相續人ナキコト
第百四十一條 民法第九百八十一條ノ規定ニ依リテ家督相續人指定ノ届出ヲ爲スト
キハ届書ニ前條ニ掲ケタル諸件及ヒ被相續人ノ死亡ノ年月日ヲ記載シ且之ニ其指
定ニ關スル遺言ノ謄本ヲ添フルコトヲ要ス

第六百六十七條 身分登記ノ變更ハ管轄區裁判所ノ許可ヲ得テ申請スルモノトス

第五百七十條 戶籍簿ハ本籍地ノミニ於テ編製ス一日本人ノ外ハ本籍ヲ定ムルヲ得ス

第四百七十一條 戶籍ハ番地ノ順ニ從テ編製シ町字等各數番地アル者アルハ其町字等ノ順席ハ戶籍吏ノ定ムル所トス

第四百七十二條 戶籍簿ハ管轄地方裁判所ノ保管ト爲ス第四百七十三條 保存スヘキ期間トハ保在期限ヲ云フ第四百七十四條 謄本ハ全寫抄本ハ一部分ノ抄寫ヲ云フ

第六章 戶籍ノ記載手續
第四百七十六條 家族トハ主ト族稱ヲ異ニスルトハ戶主士族ニシテ家族カ華族若クハ平民等ノ非ヲ云フ
第四百七十七條 直系尊屬トハ父母ヨリ高祖父母ニ至ルヲ云ヒ直系卑屬トハ子孫ヨリ玄孫ニ至ルヲ云ヒ傍系親屬トハ子兄弟姉妹ヨリ玄孫又甥姪ノ子ニ至ル等ヲ云フ
第四百八十條 舊管轄ノ戶籍吏トハ前本籍地ノ戶籍吏ヲ云フ
第四百八十一條 復籍拒絕トハ復籍ヲ拒ミ斷ハルナリ
第四百八十二條 最終戶主トハ廢絶家當時ノ戶主ヲ云フ

同順位ノ届出義務者數人アルトキハ其中ノ一人ヨリ届出ヲ爲スヲ以テ足ル
第四百二十七條 死亡ノ届出ハ死亡地又ハ死亡者ノ本籍地若クハ寄留地ノ戶籍吏ニ之ヲ爲スコトヲ要ス

第四百二十八條 第七十條及ヒ第七十四條ノ規定ハ死亡ノ届出ニ之ヲ準用ス
第四百二十九條 死刑ノ執行アリタルトキハ監獄ノ長ハ遲滞ナク第四百二十五條ニ掲ケタル諸件ヲ具シ監獄所在地ノ戶籍吏ニ死亡ノ報告ヲ爲スコトヲ要ス

前項ノ規定ハ在監中死亡シタル者アリテ死體ノ引取人ナキ場合ニ之ヲ準用ス此場合ニ於テハ報告書ニ醫師ノ診斷書又ハ檢案書ヲ添フルコトヲ要ス
第四百三十條 航海中ニ死亡者アリタルトキハ艦長又ハ船長ハ二十四時内ニ乗船者中ヨリ選ミタル證人ノ前ニ於テ第四百二十五條ニ掲ケタル諸件ヲ航海日誌ニ記載シ證人ト共ニ署名、捺印シ且證人ノ出生ノ年月日、職業及ヒ本籍地ヲ記載スルコトヲ要ス

前項ノ手續ヲ爲シタル後艦船カ日本ノ港ニ著シタルトキハ艦長又ハ船長ハ二十四時内ニ死亡ニ關スル航海日誌ノ謄本ヲ其地ノ戶籍吏ニ送付スルコトヲ要ス
艦船カ外國ノ港ニ著シタルトキハ艦長又ハ船長ハ遲滞ナク死亡ニ關スル航海日誌ノ謄本ヲ其國ニ駐在スル日本ノ公使又ハ領事ニ送付シ公使又ハ領事ハ三ヶ月内ニ之ヲ外務大臣ニ發送シ外務大臣ハ十日内ニ之ヲ死亡者ノ本籍地ノ戶籍吏ニ發送スルコトヲ要ス

第四百三十一條 艦船ノ難破ニ因リテ乗組員及ヒ乗客ノ全部又ハ一部カ死亡シタルトキハ其難破ノ取調ヲ爲シタル官廳又ハ公署ハ死亡者ノ本籍地ノ戶籍吏ニ死亡ノ報告ヲ爲スコトヲ要ス

第四百三十二條 死亡者ノ本籍分明ナラス且其何人タルコトヲ認識スルコト能ハサルトキハ警察官ハ檢視調書ヲ作り遲滞ナク之ヲ其地ノ戶籍吏ニ報告スルコトヲ要ス
死亡者ノ本籍分明ナルニ至リ又ハ其何人タルコトヲ認識スルコトヲ得ルニ至リタルトキハ警察官ハ遲滞ナク前ニ報告ヲ受ケタル戶籍吏ニ之ヲ報告スルコトヲ要ス

第四百二十六條 第一項第一號及ヒ第二號ニ掲ケタル死亡届出義務者カ前項ノ事實ヲ知リタルトキハ十日内ニ死亡ノ届出ヲ爲スコトヲ要ス此場合ニ於テハ醫師ノ診斷書又ハ檢案書ニ代ヘ警察官ノ檢視調書ノ謄本ヲ添フルコトヲ得

第十三節 家督相續

第四百三十三條 家督相續ニ因リテ戶主ト爲リタル者ハ其事實ヲ知リタル日ヨリ一ヶ月内ニ左ノ諸件ヲ具シ之ヲ被相續人ノ本籍地ノ戶籍吏ニ届出ツルコトヲ要ス
一 家督相續ノ原因及ヒ戶主ト爲リタル年月日
二 前戶主ノ名及ヒ前戶主ト家督相續人トノ續柄
家督相續人カ外國ニ在ル場合ニ於テハ前項ノ届出ハ三ヶ月内ニ届書ヲ發送スルヲ

第百八十三條 畢
身主トハ獨リ身
ナル身主ヲ云フ
第百八十四條 此
條ハ一區町村内ノ
移轉ニ係ルモノナ
リ
第百八十五條 第
一七六條、第一八
〇條ノ二項ヲ參看
スヘシ
第百八十六條 戶
籍編製後ノ入籍者
ハ等親ノ順序ニ拘
ハラズ末尾ニ記載
スルモノトス。是
レ記載手續ノ便宜
ヲ圖リタルモノナ
リ
第百八十八條 他
管ヨリ入籍ノ場合
ニハ舊戶籍吏へ通
知ヲ要スルコト
第百八十九條 他
管へ轉籍ノ爲除籍
スルトキハ轉籍ス

ヘキ地ノ戶籍吏ヨ
リノ入籍通知ヲ待
チテ轉籍ノ抹消等
ヲ爲スヲ必要トセ
リ
第百九十二條 第
四十一條ヲ參看ス
ヘシ
第百九十三條 行
政區畫トハ郡區町
村區域等ヲ云フ
第百九十四條 第
十一條ヲ參看スヘ
シ
第七章 戶籍ニ關
スル届出
第百九十五條 他
管へ轉籍セントス
ルトキハ身主ヨリ
此條ニ從テ届出ル
ヲ必要トス
第百九十六條 此
條ハ管轄内ノ轉籍
ヲ示ス
第百九十七條 關
滿トハ届ケ洩レテ
云フ。復本籍トハ

以テ足ル

第百三十四條 家督相續回復ノ裁判カ確定シタルトキハ相續權ヲ回復シタル者ハ裁
判確定ノ日ヨリ一个月内ニ前條ニ掲ケタル諸件ヲ具シ裁判ノ謄本ヲ添ヘテ之ヲ届
出テ且前ニ爲シタル家督相續ノ登記ノ取消ヲ申請スルコトヲ要ス
第百三十五條 家督相續人カ胎兒ナルトキハ其母ハ相續ノ開始アリタルコトヲ知リ
タル日ヨリ一个月内ニ左ノ諸件ヲ具シ醫師ノ診斷書ヲ添ヘテ家督相續ノ届出ヲ爲
スコトヲ要ス
一 相續開始ノ年月日
二 家督相續人ノ胎兒ナルコト
三 前戶主ノ名及ヒ前戶主ト家督相續人トノ續柄
第百三十六條 胎兒ヲ家督相續人トシテ届出テタル場合ニ於テ其胎兒カ死體ニテ生
レタルトキハ母ハ出産ノ日ヨリ一个月内ニ醫師又ハ出産ニ立會ヒタル産婆ノ檢案
書ヲ提出シテ家督相續ノ登記ノ取消ヲ申請スルコトヲ要ス
母カ登記取消ノ申請ヲ爲ササルトキハ家督相續人ハ其事實ヲ知リタル日ヨリ一
月内ニ登記ノ取消ヲ申請スルコトヲ要ス
第十四節 推定家督相續人ノ廢除
第百三十七條 推定家督相續人廢除ノ裁判カ確定シタルトキハ被相續人ハ裁判確定
ノ日ヨリ十日内ニ左ノ諸件ヲ具シ裁判ノ謄本ヲ添ヘテ之ヲ届出ツルコトヲ要ス
一 廢除セラレタル者ノ名、出生ノ年月日及ヒ職業
二 廢除ノ原因
三 廢除ノ裁判カ確定シタル年月日
第百三十八條 被相續人カ遺言ヲ以テ推定家督相續人ヲ廢除スル意思ヲ表示シタル
場合ニ於テ廢除ノ裁判カ確定シタルトキハ前條ノ届出ハ遺言執行者ヨリ之ヲ爲ス
コトヲ要ス
前項ノ場合ニ於テハ届書ニ被相續人ノ死亡ノ年月日ヲ記載スルコトヲ要ス
第百三十九條 推定家督相續人廢除ノ取消ノ裁判カ確定シタルトキハ其取消ヲ請求
シタル者ハ裁判確定ノ日ヨリ一个月内ニ裁判ノ謄本ヲ提出シテ登記ノ取消ヲ申請
スルコトヲ要ス
第十五節 家督相續人ノ指定
第百四十條 家督相續人指定ノ届書ニハ左ノ諸件ヲ記載スルコトヲ要ス
一 指定家督相續人タルヘキ者ノ氏名、族稱、出生ノ年月日、職業及ヒ本籍地
二 法定ノ推定家督相續人ナキコト
第百四十一條 民法第九百八十一條ノ規定ニ依リテ家督相續人指定ノ届出ヲ爲スト
キハ届書ニ前條ニ掲ケタル諸件及ヒ被相續人ノ死亡ノ年月日ヲ記載シ且之ニ其指
定ニ關スル遺言ノ謄本ヲ添フルコトヲ要ス

第百三十四條 家督相續回復ノ裁判カ確定シタルトキハ相續權ヲ回復シタル者ハ裁
判確定ノ日ヨリ一个月内ニ前條ニ掲ケタル諸件ヲ具シ裁判ノ謄本ヲ添ヘテ之ヲ届
出テ且前ニ爲シタル家督相續ノ登記ノ取消ヲ申請スルコトヲ要ス
第百三十五條 家督相續人カ胎兒ナルトキハ其母ハ相續ノ開始アリタルコトヲ知リ
タル日ヨリ一个月内ニ左ノ諸件ヲ具シ醫師ノ診斷書ヲ添ヘテ家督相續ノ届出ヲ爲
スコトヲ要ス
一 相續開始ノ年月日
二 家督相續人ノ胎兒ナルコト
三 前戶主ノ名及ヒ前戶主ト家督相續人トノ續柄
第百三十六條 胎兒ヲ家督相續人トシテ届出テタル場合ニ於テ其胎兒カ死體ニテ生
レタルトキハ母ハ出産ノ日ヨリ一个月内ニ醫師又ハ出産ニ立會ヒタル産婆ノ檢案
書ヲ提出シテ家督相續ノ登記ノ取消ヲ申請スルコトヲ要ス
母カ登記取消ノ申請ヲ爲ササルトキハ家督相續人ハ其事實ヲ知リタル日ヨリ一
月内ニ登記ノ取消ヲ申請スルコトヲ要ス
第十四節 推定家督相續人ノ廢除
第百三十七條 推定家督相續人廢除ノ裁判カ確定シタルトキハ被相續人ハ裁判確定
ノ日ヨリ十日内ニ左ノ諸件ヲ具シ裁判ノ謄本ヲ添ヘテ之ヲ届出ツルコトヲ要ス
一 廢除セラレタル者ノ名、出生ノ年月日及ヒ職業
二 廢除ノ原因
三 廢除ノ裁判カ確定シタル年月日
第百三十八條 被相續人カ遺言ヲ以テ推定家督相續人ヲ廢除スル意思ヲ表示シタル
場合ニ於テ廢除ノ裁判カ確定シタルトキハ前條ノ届出ハ遺言執行者ヨリ之ヲ爲ス
コトヲ要ス
前項ノ場合ニ於テハ届書ニ被相續人ノ死亡ノ年月日ヲ記載スルコトヲ要ス
第百三十九條 推定家督相續人廢除ノ取消ノ裁判カ確定シタルトキハ其取消ヲ請求
シタル者ハ裁判確定ノ日ヨリ一个月内ニ裁判ノ謄本ヲ提出シテ登記ノ取消ヲ申請
スルコトヲ要ス
第十五節 家督相續人ノ指定
第百四十條 家督相續人指定ノ届書ニハ左ノ諸件ヲ記載スルコトヲ要ス
一 指定家督相續人タルヘキ者ノ氏名、族稱、出生ノ年月日、職業及ヒ本籍地
二 法定ノ推定家督相續人ナキコト
第百四十一條 民法第九百八十一條ノ規定ニ依リテ家督相續人指定ノ届出ヲ爲スト
キハ届書ニ前條ニ掲ケタル諸件及ヒ被相續人ノ死亡ノ年月日ヲ記載シ且之ニ其指
定ニ關スル遺言ノ謄本ヲ添フルコトヲ要ス

二重ニ本籍ヲ有スルヲ云フ
 第九十八條 此條ハ前條ノ場合ニ於ケル就籍届ノ要件ヲ示シタルモノナリ
 第九十九條 此條ハ第一九七條ノ場合ニ於ケル除籍届ノ要件ヲ示スモノナリ
 第八章 抗告
 第二百三條 抗告トハ明治十九年司法省令第三號ニ定メラレタル手續ニ依ルモノニシテ其判定ニ對シテ上訴スルコトヲ得サルナリ
 第二百四條 抗告ハ其管轄區裁判所ニ爲スモノトス
 第二百七條 抗告ノ却下及處分ヲ命スルハ總テ裁判決

定ヲ以テス
 第二百八條 前條ノ決定ニ對シテハ法律ニ違フト云フコトヲ理由トスルトキニ限り抗告スルヲ得ルナリ
 第二百九條 非訟事件手續法第二編ヲ參看スヘシ
 第九章 罰則
 第二百十條 過料ト云フハ刑法ノ制裁ニアラサルコトヲ示シタルモノナリ
 第二百十一條 コノ條ニ示ス如キ箇告ニ應セサル毎ニ此過料ニ處スルナリ
 第二百十二條 此條及次ノ條ハ戶籍吏ノ罰セラルル場合ヲ示シタルモノナリ
 第二百十三條 受理ノ証明書ヲ交付

第四百二十二條 家督相續人指定ノ取消ノ届書ニハ左ノ諸件ヲ記載スルコトヲ要ス
 一 指定家督相續人ノ氏名、族稱、出生ノ年月日、職業及ヒ本籍地
 二 指定ノ年月日

第四百十三條 家督相續人指定ノ取消ノ届出ヲ爲ス者ハ同時ニ家督相續人指定ノ登記ノ取消ヲ申請スルコトヲ要ス

第四百十四條 民法第九百八十一條ノ規定ニ依リテ指定ノ取消ノ届出ヲ爲ス場合ニ於テハ前二條ノ規定ニ依ル外届書ニ被相續人ノ死亡ノ年月日ヲ記載シ且之ニ指定ノ取消ニ關スル遺言ノ謄本ヲ添フルコトヲ要ス

第四百十五條 家督相續人ノ指定カ其效力ヲ失ヒタルトキハ指定ヲ爲シタル者ハ其事實ヲ知リタル日ヨリ一ヶ月内ニ其效力ヲ失ヒタル事由ノ證明書ヲ提出シテ登記ノ取消ヲ申請スルコトヲ要ス

第十六節 入籍、離籍及ヒ復籍拒絶
 第四百十六條 民法第七百三十五條第一項若クハ第七百三十七條ノ規定ニ依リ他家ノ家族ト爲ラント欲スル者又ハ民法第七百三十八條ノ規定ニ依リ自己ノ親族ヲ婚家、養家又ハ自家ノ家族ト爲サント欲スル者ハ左ノ諸件ヲ具シテ入籍ノ届出ヲ爲スコトヲ要ス
 一 入籍スヘキ家ノ戶主ノ氏名、出生ノ年月日、職業及ヒ本籍地
 二 入籍スヘキ家ノ戶主又ハ家族ト入籍スヘキ者トノ親族關係

三 入籍スヘキ者カ廢家シテ他家ニ入ルトキハ其旨
 四 入籍スヘキ者カ家族ナルトキハ其去ルヘキ家ノ戶主ノ氏名、出生ノ年月日、職業、本籍地及ヒ其戶主ト入籍スヘキ者トノ續柄

第四百十七條 民法第七百三十五條第一項、第七百三十七條及ヒ第七百三十八條ノ規定ニ依リ戶主、配偶者、養親、親權ヲ行フ者又ハ後見人ノ同意ヲ要スル場合ニ於テハ届出人ハ届書ニ同意ノ證書ヲ添ヘ又ハ同意ヲ爲シタル者ヲシテ届書ニ同意ノ旨ヲ附記シ之ニ署名、捺印セシムルコトヲ要ス
 第四百十八條 戶主カ其家族ヲ離籍セント欲スルトキハ左ノ諸件ヲ具シテ之ヲ届出ツルコトヲ要ス
 一 離籍セラルヘキ者ノ氏名、出生ノ年月日及ヒ職業
 二 離籍ノ原因及ヒ其原因發生ノ年月日
 三 離籍セラルヘキ者ト共ニ家ヲ去ルヘキ者アルトキハ其名、出生ノ年月日、職業及ヒ其者ト離籍セラルヘキ者トノ續柄

第四百十九條 離籍ニ因リテ一家ヲ創立シタル者ハ其事實ヲ知リタル日ヨリ十日内ニ左ノ諸件ヲ具シテ其旨ヲ届出ツルコトヲ要ス
 一 離籍ヲ爲シタル戶主ノ氏名、出生ノ年月日、職業及ヒ本籍地
 二 離籍ヲ爲シタル戶主ト届出人トノ續柄
 三 離籍ノ原因及ヒ年月日

セザルトハ手数料
ヲ拂フモ証明書ヲ
與ヘサルヲ云フ
第二百十四條 過
料執行ノ手續ハ非
訴訟法ニ依ルモノ
トス
第二百五條 自
分又ハ他人ヲ利ス
ル爲メ若クハ害ス
ル爲メ詐欺的ノ所
爲アル者ハ刑法ノ
制裁ニ從テ禁錮罰
金ノ刑ニ處セラル
ルナリ
附 則
第二百十六條 此
條ハ例外ヲ示シタ
ルモノニシテ島嶼
等市町村制ヲ施行
セザル地ニシテ適
當ノ吏員ナキハ
司法大臣之ヲ定ム
ルモノトス
第二百十七條 戶
籍法ニヨリテ收入
スル諸手数料ハ通

常市町村ノ收入金
ト爲スナリ
第二百十八條 此
條ハ最モ人民ノ便
利ヲ圖リ定メタル
モノニシテ印ヲ持
タス自己ノ名ヲ署
スル能ハサルモノ
ハ代書又ハ捺印ニ
テ充分トセリ
第二百二十一條
戶籍ヲ改メ作ル時
期ハ全國同一ノ時
期ト爲シテ司法大
臣ノ定ムルモノト
ス是レ實ニ戶口
調査ノ整理上一大
要點ナリ

四 届出人ノ家ニ入ルヘキ者アルトキハ其名、出生ノ年月日、職業及ヒ其者ト
届出人トノ續柄

第二百五十條 戶主カ其家族タリシ者ノ復籍ヲ拒マント欲スルトキハ左ノ諸件ヲ具シ
テ之ヲ届出ツルコトヲ要ス

一 復籍ヲ拒マルヘキ者ノ氏名、出生ノ年月日、職業及ヒ本籍地
二 復籍ヲ拒マルヘキ者カ家族ナルトキハ戶主ノ氏名、出生ノ年月日、職業及
ヒ本籍地

三 復籍拒絶ノ原因及ヒ其原因發生ノ年月日

第二百五十一條 復籍拒絶又ハ復籍スヘキ家ノ廢絶ニ因リテ復籍ヲ爲スコト能ハサル
者カ一家ヲ創立シタルトキハ其事實ヲ知リタル日ヨリ十日内ニ左ノ諸件ヲ具シテ
其旨ヲ届出ツルコトヲ要ス

一 復籍ヲ拒ミタル戶主又ハ廢絶シタル家ノ最終ノ戶主ノ氏名、出生ノ年月日、
職業及ヒ本籍地

二 復籍拒絶又ハ復籍スヘキ家ノ廢絶ノ原因及ヒ年月日

三 届出人ノ家ニ入ルヘキ者アルトキハ其名、出生ノ年月日、職業及ヒ其者ト
届出人トノ續柄

第十八節 廢家及ヒ絶家
第二百五十二條 廢家ヲ爲サント欲スル者ハ左ノ諸件ヲ具シ家督相續ニ因リテ戶主ト

爲リタル者ニ非サルコトノ證明書又ハ廢家ノ許可ニ關スル裁判ノ謄本ヲ添ヘテ之
ヲ届出ツルコトヲ要ス

一 廢家シタル者カ入ルヘキ家ノ戶主ノ氏名、出生ノ年月日、職業及ヒ本籍地

二 廢家シタル者ニ隨ヒテ他家ニ入ル者ノ名、出生ノ年月日及ヒ職業

第二百五十三條 絶家ノ家族ニシテ一家ヲ創立シタル者ハ其事實ヲ知リタル日ヨリ十
日内ニ左ノ諸件ヲ具シテ絶家及ヒ一家創立ノ届出ヲ爲スコトヲ要ス

一 絶家ノ最終ノ戶主ノ氏名、出生ノ年月日、職業及ヒ本籍地
二 絶家ノ原因及ヒ年月日
三 一家ヲ創立シタル者ニ隨ヒテ他家ニ入ル者ノ名、出生ノ年月日及ヒ職業

第十八節 分家及ヒ廢絶家再興
第二百五十四條 分家ヲ爲サント欲スル者ハ左ノ諸件ヲ具シテ之ヲ届出ツルコトヲ要
ス

一 分家ノ戶主ト爲ルヘキ者ノ氏名、出生ノ年月日、職業及ヒ本籍地
二 本家ノ戶主ノ氏名、職業、本籍地及ヒ其戶主ト分家ノ戶主ト爲ルヘキ者トノ
續柄

三 分家ノ家族ト爲ルヘキ者アルトキハ其名、出生ノ年月日及ヒ職業

四 分家ノ戶主及ヒ家族ト爲ルヘキ者ノ父母ノ氏名、職業及ヒ本籍地

第二百五十五條 廢絶家ヲ再興セント欲スル者ハ左ノ諸件ヲ具シテ之ヲ届出ツルコト

ヲ要ス

- 一 廢絶家ノ最終ノ戸主ノ氏名、職業及ヒ本籍地
 - 二 廢絶ノ原因及ヒ年月日
 - 三 廢絶シタル家ト再興ヲ爲ス者ノ家トノ續柄
 - 四 再興ヲ爲ス者ノ戸主ノ氏名、出生ノ年月日、職業及ヒ本籍地
 - 五 再興ヲ爲ス者ニ随ツテ其家ニ入ルヘキ者ノ名、出生ノ年月日及ヒ職業
- 第百五十六條 分家又ハ廢絶家再興ノ届出人ハ届書ニ戸主ノ同意ノ證書ヲ添ヘ又ハ戸主ヲシテ届書ニ同意ノ旨ヲ附記シ之ニ署名、捺印セシムルコトヲ要ス
- 前項ノ規定ハ民法第七百四十三條但書ノ規定ニ依リ親權ヲ行フ者又ハ後見人ノ同意ヲ要スル場合ニ之ヲ準用ス

第十九節 國籍ノ得喪

第百五十七條 外國人カ婚姻又ハ養子縁組ニ因リテ日本ノ國籍ヲ取得スヘキトキハ婚姻又ハ縁組ノ届出人ハ届書ニ國籍取得者ノ原國籍ヲ記載スルコトヲ要ス

入夫婚姻又ハ養子縁組ノ場合ニ於テハ前項ノ規定ニ依ル外届書ニ内務大臣ノ許可書ノ謄本ヲ添フルコトヲ要ス

第百五十八條 外國人カ認知ニ因リテ日本ノ國籍ヲ取得スヘキトキハ認知者ハ認知ノ届書ニ子ノ原國籍ヲ記載スルコトヲ要ス

子ノ母カ外國人ナルトキハ認知者ハ届書ニ母ノ國籍ヲ記載スルコトヲ要ス

第百五十九條 歸化ヲ爲シタル者ハ歸化ノ許可ヲ受ケタル日ヨリ十日内ニ左ノ諸件ヲ具シ内務大臣ノ許可書ノ謄本ヲ添ヘテ之ヲ届出ツルコトヲ要ス

- 一 歸化人ノ氏名、出生ノ年月日、職業住所及ヒ原國籍
- 二 父母ノ氏名、出生ノ年月日、職業及ヒ國籍
- 三 歸化人ト共ニ日本ノ國籍ヲ取得シタル者アルトキハ其名、出生ノ年月日、職業及ヒ其者ト歸化人トノ續柄

四 許可ノ年月日

歸化人ノ妻又ハ子カ歸化人ト共ニ日本ノ國籍ヲ取得セサルトキハ届書ニ其事由ヲ記載スルコトヲ要ス

第百六十條 日本ノ國籍ヲ失フヘキ者ハ其國籍喪失前ニ左ノ諸件ヲ具シテ之ヲ届出

ツルコトヲ要ス

- 一 國籍喪失ノ原因
- 二 國籍喪失ノ期日ヲ知り得ヘキトキハ其年月日
- 三 法定ノ推定家督相續人アルトキハ其名、出生ノ年月日、職業及ヒ其者ト届出人トノ續柄
- 四 新ニ取得スヘキ國籍
- 五 届出人ノ妻又ハ子カ共ニ國籍ヲ失フヘキトキハ其妻又ハ子ノ名、出生ノ年月日及ヒ職業

第六十一條 日本ノ國籍ヲ失ヒタル者カ國籍喪失前ニ前條ノ届出ヲ爲スコト能ハ

サリシトキハ國籍喪失後十日内ニ之ヲ爲スコトヲ要ス

前項ノ規定ハ國籍喪失者カ日本ニ住所又ハ居所ヲ有セサルトキハ之ヲ適用セス

第六十二條 日本ノ國籍ヲ失フヘキ者カ滿十七年以上ノ男子ナルトキハ國籍喪失ノ届出人ハ届書ニ其者カ既ニ陸海軍ノ現役ニ服シタルコト又ハ之ニ服スル義務ナ

キコトノ證明書ヲ添フルコトヲ要ス

日本ノ國籍ヲ失フヘキ者カ官職ヲ帶フル者ナルトキハ國籍喪失ノ届出人ハ届書ニ所屬長官ノ許可書ノ謄本ヲ添フルコトヲ要ス

第六十三條 日本ノ國籍ヲ回復シタル者ハ國籍回復ノ許可ヲ得タル日ヨリ十日内ニ左ノ諸件ヲ具シ内務大臣ノ許可書ノ謄本ヲ添ヘテ之ヲ届出ツルコトヲ要ス

一 日本ノ國籍ヲ失ヒタル原因及ヒ年月日

二 國籍回復前ニ有セシ國籍

三 國籍回復ノ許可ヲ得タル年月日

四 國籍回復者ト共ニ日本ノ國籍ヲ取得シ又ハ之ヲ回復シタル者アルトキハ其名、出生ノ年月日、職業及ヒ其者ト國籍回復者トノ續柄

第二十節 氏名及ヒ族稱ノ變更

第六十四條 氏ヲ復舊シ又ハ名ヲ改稱シタル者ハ十日内ニ左ノ諸件ヲ具シ管轄官廳ノ許可書ノ謄本ヲ添ヘテ之ヲ届出ツルコトヲ要ス

一 復舊又ハ改稱前ノ氏名

二 復舊シタル氏又ハ改稱シタル名

三 復舊又ハ改稱ノ原因及ヒ許可ノ年月日

第六十五條 新ニ華族ニ列セラレ又ハ華士族ノ稱ヲ失ヒタル者ハ十日内ニ左ノ諸件ヲ具シ辭令書又ハ管轄官廳ノ許可書ノ謄本ヲ添ヘテ之ヲ届出ツルコトヲ要ス

一 新舊族稱

二 族稱變更ノ原因

三 族稱變更ノ辭令又ハ許可アリタル年月日

前項ノ届出ハ其族稱ニ變更アリタル者カ家族ナルトキハ戸主ヨリ之ヲ爲スコトヲ要ス

第六十六條 前條ノ規定ハ分家、廢絶家再興又ハ處刑ニ因リテ族稱ヲ失ヒタル者ニハ之ヲ適用セス但處刑ニ因リテ族稱ヲ失ヒタル場合ニ於テハ裁判所ハ其者ノ本籍地ノ戶籍吏ニ其旨ヲ報告スルコトヲ要ス

第二十一節 身分登記ノ變更

一 原登記ノ件名及ヒ年月日
 二 變更スヘキ事項
 第六十九條 前條ノ規定ハ確定判決ニ依リテ身分登記ノ變更ヲ申請スル場合ニ之ヲ準用ス

第五章 戸籍簿

第七十條 戸籍ハ戸籍吏ノ管轄地内ニ本籍ヲ定メタル者ニ付キ之ヲ編製ス
 日本ノ國籍ヲ有セサル者ハ本籍ヲ定ムルコトヲ得ス

第七十一條 戸籍ハ地番號ノ順序ニ從ヒ之ヲ編製シテ帳簿ト爲ス
 戸籍吏ノ管轄地内ニ各別ニ地番號ヲ附シタル二個以上ノ區畫アル場合ニ於テハ其

區畫ノ順序ハ戸籍吏之ヲ定ム

第七十二條 戸籍簿ハ正副二本ヲ設ク
 戸籍簿ノ正本ハ之ヲ戸籍役場ニ備ヘ其副本ハ監督區裁判所ヲ管轄スル地方裁判所

之ヲ保存ス

第七十三條 家督相續、廢絶家其他ノ事由ニ因リ戸籍ノ全部ヲ抹消シタルモノハ之ヲ戸籍簿ヨリ除キ別ニ編綴シテ帳簿ト爲シ之ヲ戸籍役場ニ保存ス
 前項ノ帳簿ヲ保存スヘキ期間ハ司法大臣之ヲ定ム

第七十四條 第十二條乃至第十四條ノ規定ハ戸籍簿並ニ戸籍ノ謄本及ヒ抄本ニ之ヲ準用ス

第六章 戸籍ノ記載手續

第七十五條 戸籍ハ一戸毎ニ一本ヲ作ル

第七十六條 戸籍ニハ左ノ事項ヲ記載スルコトヲ要ス

- 一 戸主、前戸主、及ヒ家族ノ氏名
- 二 戸主ノ族稱及ヒ本籍地但家族ト戸主ト族稱ヲ異ニスル場合ニ於テハ家族ニ付テモ其族稱ヲ記載スルコトヲ要ス
- 三 戸主及ヒ家族ノ出生ノ年月日
- 四 戸主又ハ家族ト爲リタル原因及ヒ年月日但出生ニ因リテ家族ト爲リタル者ニ付テハ此記載ヲ要セス
- 五 戸主並ニ家族ノ父母ノ氏名及ヒ其父母ト戸主又ハ家族トノ續柄
- 六 戸主ト前戸主トノ續柄及ヒ家族ト戸主トノ續柄但家族ノ他家ヨリ入リテ他家ノ家族ノ配偶者ト爲リタル者又ハ他家ノ家族ヲ經テ戸主トノ親族關係ヲ有スル者ニ付テハ其者ト戸主トノ續柄ノ外他家ノ家族トノ續柄ヲ記載スルコトヲ要ス
- 七 他家ヨリ入リテ戸主又ハ家族ト爲リタル者ニ付テハ其原籍地、原籍ノ戸主ノ氏名、族稱及ヒ其戸主ト戸主又ハ家族ト爲リタル者トノ續柄
- 八 他家ヨリ入リテ家族ト爲リタル者ニシテ他家ノ家族トノ親族關係ヲ有スル者ニ付テハ其者ト他家ノ家族トノ續柄

九 戸主又ハ家族ノ身分ノ變更及ヒ其原因並ニ年月日
後見人アル者ニ付テハ後見人ノ氏名、住所及ヒ後見人ノ就職並ニ任務終了

ノ年月日

第七十七條 戸主及ヒ家族ノ氏名ヲ戸籍ニ記載スルニハ左ノ順序ニ依ル

第一 戸主

第二 戸主ノ直系尊屬

第三 戸主ノ配偶者

第四 戸主ノ直系卑屬及ヒ其配偶者

第五 戸主ノ傍系親及ヒ其配偶者

第六 戸主ノ親族ニ非サル者

直系尊屬ノ間ニ在リテハ親等ノ遠キ者ヲ先ニシ直系卑屬又ハ傍系親ノ間ニ在リテハ親等ノ近キ者ヲ先ニス

直系尊屬、直系卑屬又ハ傍系親ノ間ニ在リテ親等ノ同シキ者ハ親族間ノ順位ニ依リ親族間ノ順位ノ同シキ者ハ出生ノ前後ニ依リテ其順序ヲ定ム

前二項ノ規定ハ戸主ノ親族ニ非サル者ノ記載ニ之ヲ準用ス

第七十八條 戸籍吏カ身分登記ヲ爲シ又ハ戸籍ニ關スル届出ヲ受理シタルトキハ

次條以下ノ規定ニ從ヒテ戸籍ノ記載ヲ爲スコトヲ要ス

第七十九條 家督相續又ハ家督相續回復ノ登記ヲ爲シタルトキハ其登記及ヒ前戸

主又ハ戸主ノ名義ヲ有セシ者ノ戸籍ニ基キテ新戸主ノ戸籍ヲ編製スルコトヲ要ス

前項ノ場合ニ於テハ前戸主又ハ戸主ノ名義ヲ有セシ者ノ戸籍ニ事由ヲ記載シテ其

戸籍ヲ抹消シ且其戸籍ト新戸主ノ戸籍トニ職印ヲ以テ契印ヲ爲スコトヲ要ス

胎兒カ家督相續人ナル場合ニ於テハ其出生ニ至ルマテ前二項ノ手續ヲ爲スコトヲ

要セス此場合ニ於テハ前戸主ノ戸籍中戸主ニ關スル部分ノミヲ抹消シ家督相續人

ノ胎兒ナル旨ヲ記載スルコトヲ要ス

第八十條 分家、廢絶家再興其他新家ヲ立ツヘキ事件ノ登記ヲ爲シ又ハ轉籍若

クハ無籍戸主ノ就籍ノ届出ヲ受理シタルトキハ其登記又ハ届出ニ基キテ戸籍ヲ編

製シ轉籍届書ノ副本ハ遲滞ナク之ヲ舊管轄ノ戸籍吏ニ送附スルコトヲ要ス

前項ノ規定ニ依リテ戸籍ヲ編製スルニハ第七十六條ニ掲ケタル事項ノ外各場合

ニ付キ特殊ナル事項ヲ記載スルコトヲ要ス

第八十一條 復籍拒絶ノ登記ヲ爲シタルトキハ復籍ヲ拒絶シタル者ノ戸籍ニ登記

ノ要旨ヲ記載スルコトヲ要ス

第八十二條 廢絶家ノ登記ヲ爲シタルトキハ最終戸主ノ戸籍ニ事由ヲ記載シテ其

戸籍ヲ抹消スルコトヲ要ス

第八十三條 單身戸主ノ死亡又ハ失踪ノ登記ヲ爲シタル場合ニ於テ其家ニ家督相

續人ナキコト分明ナルトキハ戸籍吏ハ戸籍役場ノ所在地ヲ管轄スル區裁判所ノ許

可ヲ得テ死亡者又ハ失踪者ノ戸籍ニ絶家ノ原因及ヒ年月日ヲ記載シテ其戸籍ヲ抹

消スルコトヲ要ス

第百八十四條 戶籍吏ノ管轄地内ニ於ケル本籍地變更ノ届出ヲ受理シタルトキハ事

由ヲ戶籍ニ記載シ舊本籍地ニ關スル記載ヲ抹消シ新本籍地ヲ記載スルコトヲ要ス

第百八十五條 前六條ノ場合ヲ除ク外身分登記ヲ爲シ又ハ戶籍ニ關スル届出ヲ受理

シタルトキハ其登記又ハ届出ニ基キ第百七十六條ニ掲ケタル事項ヲ戶籍ニ記載ス

ルコトヲ要ス

前項ノ場合ニ於テ第百八十條第二項ノ規定ニ依リテ戶籍ニ記載シタル事項ノ變更

アルトキハ其變更ヲ記載スルコトヲ要ス

第百八十六條 戶籍ヲ編製シタル後一人又ハ數人ヲ戶籍ニ入ルヘキトキハ第百七十

七條ノ順序ニ拘ハラヌ戶籍ノ末尾ニ之ヲ記載スルコトヲ得

第百八十七條 一戸ノ全員又ハ一戸内ノ一人若クハ數人ヲ戶籍ヨリ除クヘキトキハ

事由ヲ戶籍ニ記載シテ戶籍ノ全部又ハ一部ヲ抹消スルコトヲ要ス

第百八十八條 入籍ノ手續ヲ爲ス場合ニ於テ入籍ヲ爲スヘキ者ノ本籍カ他ノ戶籍吏

ノ管轄ヨリ戶籍吏ノ管轄ニ轉屬スルモノナルトキハ身分ニ關スル届書其他ノ書類

又ハ戶籍ニ關スル届書ヲ送付スルト同時ニ入籍ヲ爲シタル旨ヲ舊管轄ノ戶籍吏ニ

通知スルコトヲ要ス

第百八十九條 除籍ノ手續ヲ爲スヘキ場合ニ於テ除籍ヲ爲スヘキ者ノ本籍カ戶籍吏

ノ管轄ヨリ他ノ戶籍吏ノ管轄ニ轉屬スルモノナルトキハ新管轄ノ戶籍吏ヨリ入籍

ヲ爲シタル旨ノ通知ヲ受ケタル後其通知ノ發送及ヒ受附ノ年月日ヲ戶籍ニ記載シ

テ除籍ノ手續ヲ爲スコトヲ要ス

轉籍ニ因リテ除籍ヲ爲スヘキ場合ニ於テハ前項ニ掲ケタル事項ノ外轉籍地及ヒ轉

籍ノ年月日ヲ記載スルコトヲ要ス

第百九十條 身分登記又ハ戶籍ニ關スル届出ニ基キテ戶籍ノ記載ヲ爲ス場合ニ於テ

ハ前十一條ニ規定シタル事項ノ外身分ニ關スル届書其他ノ書類又ハ戶籍ニ關スル

届書ノ受附年月日ヲ記載スルコトヲ要ス

第百九十一條 第十八條、第二十九條及ヒ第三十一條ノ規定ハ戶籍ノ記載ニ之ヲ準

用ス

第百九十二條 戶籍用紙中ノ一部分ヲ用井盡シタルトキハ掛紙ヲ以テ用紙ニ充ツル

コトヲ得

掛紙ヲ爲シタルトキハ戶籍吏ハ職印ヲ以テ掛紙ト本紙トニ契印ヲ爲スコトヲ要ス

第百九十三條 行政區畫、土地ノ名稱又ハ地番號ノ變更アリタルトキハ戶籍ニ記載

シタル區畫、名稱又ハ番號ハ當然之ヲ改正シタルモノト看做ス

第百九十四條 第百七十九條及ヒ第百八十條ノ規定ニ依リテ戶籍ヲ編製シタルトキ

ハ戶籍吏ハ遲滞ナク其副本ヲ監督區裁判所ヲ管轄スル地方裁判所ニ送付スルコト

ヲ要ス

第七章 戶籍ニ關スル届出

第七條 戶籍ニ關スル届出

第九十五條

戸籍吏ノ管轄地外ニ本籍ヲ轉セント欲スルトキハ戸主ヨリ左ノ諸件ヲ具シ戸籍ノ謄本ヲ添ヘテ之ヲ轉籍地ニ届出ツルコトヲ要ス

- 一 轉籍者ノ氏名、出生ノ年月日及ヒ職業
- 二 原籍地及ヒ轉籍地

前項ノ届書ハ正副二本ヲ作ルコトヲ要ス

第九十六條

戸籍吏ノ管轄地内ニ於テ本籍地ヲ變更セント欲スルトキハ戸主ヨリ原籍地及ヒ新本籍地ヲ具シテ其旨ヲ戸籍吏ニ届出ツルコトヲ要ス

第九十七條

届出ノ闕漏其他ノ事由ニ因リ本籍ヲ有セス又ハ復本籍ヲ有スル者ハ就籍又ハ除籍ノ届出ヲ爲サントスル戸籍役場ノ所在地ヲ管轄スル區裁判所ノ許可ヲ得テ其届出ヲ爲スコトヲ要ス

第九十八條

就籍ノ届出ハ許可ノ裁判カ確定シタル日ヨリ十日内ニ左ノ諸件ヲ具シ裁判ノ謄本ヲ添ヘテ就籍スヘキ地ノ戸籍吏ニ之ヲ爲スコトヲ要ス

- 一 就籍スヘキ者ノ氏名、族稱、出生ノ年月日時、職業及ヒ就籍スヘキ地
- 二 就籍スヘキ者ノ父母ノ氏名及ヒ其者ト父母トノ續柄
- 三 本籍ヲ有セザリシ原因
- 四 就籍スヘキ者カ前ニ本籍ヲ有セシトキハ其舊本籍地
- 五 就籍スヘキ者カ戸主ナルトキハ其旨
- 六 就籍スヘキ者カ家族ナルトキハ戸主ノ氏名、族稱、職業及ヒ其者ト戸主ト

續柄

七 就籍スヘキ者カ戸主及ヒ家族ナルトキハ戸主、家族ノ別及ヒ家族ト戸主トノ續柄

八 就籍スヘキ者カ他家ヨリ入リテ戸主又ハ家族ト爲リタル者ナルトキハ其原籍地、原籍ノ戸主ノ氏名、族稱及ヒ其戸主ト就籍スヘキ者トノ續柄

前項第六號及ヒ第七號ノ場合ニ於テ就籍スヘキ家族カ他家ヨリ入リテ他ノ家族ノ配偶者ト爲リタリ者ナルトキ又ハ他ノ家族ヲ經テ戸主トノ親族關係ヲ有スル者ナルトキハ届書ニ其者ト戸主トノ續柄ノ外他ノ家族トノ續柄ヲ記載シ若シ他ノ家族トノ親族關係ヲ有スル者ナルトキハ其者ト他ノ家族トノ續柄ノミヲ記載スルコトヲ要ス

第九十九條

除籍ノ届出ハ許可ノ裁判カ確定シタル日ヨリ十日内ニ左ノ諸件ヲ具シ裁判ノ謄本ヲ添ヘテ除籍スヘキ地ノ戸籍吏ニ之ヲ爲スコトヲ要ス

- 一 除籍スヘキ者ノ氏名、族稱、職業、本籍地及ヒ復本籍地
- 二 復本籍ヲ有セル原因
- 三 除籍スヘキ者カ本籍ト復本籍トニ於テ身分ヲ異ニスルトキハ本籍並ニ復本籍ニ於ケル身分及ヒ其身分ノ異ナル原因

第二百條

就籍又ハ除籍スヘキ者カ家族ナルトキ又ハ戸主及ヒ家族ナルトキハ前二條ノ届出ハ戸主ヨリ之ヲ爲スコトヲ要ス

第二百一十一條 第九十八條及第九十九條ノ規定ハ確定判決ニ依リテ就籍又ハ除籍ノ届出ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第二百一十二條 第四十二條、第四十四條、第四十六條、第四十九條乃至第五十二條、第五十四條、第五十五條、第五十八條及第六十二條乃至第六十六條ノ規定ハ本章ノ届出ニ之ヲ準用ス

第八章 抗告

第二百一十三條 身分登記又ハ戸籍ニ關スル事件ニ付キ戸籍吏ノ處分ヲ不當トスル者ハ戸籍役場ノ所在地ヲ管轄スル區裁判所ニ抗告ヲ爲スコトヲ得

第二百一十四條 抗告ハ管轄區裁判所ニ抗告狀ヲ差出シテ之ヲ爲ス

抗告狀ニハ届書又ハ申請書及ヒ其他ノ關係書類ヲ添フルコトヲ要ス

第二百一十五條 抗告ヲ受ケタル裁判所ハ抗告ニ關スル書類ヲ戸籍吏ニ送付シテ其意見ヲ求ムルコトヲ要ス

第二百一十六條 戸籍吏ハ抗告ヲ理由アリト認ムルトキハ處分ヲ變更シテ其旨ヲ裁判所及ヒ抗告人ニ通知スルコトヲ要ス

抗告ヲ理由ナシト認ムルトキハ其意見ヲ附シ送付ヲ受ケタル書類ヲ五日內ニ裁判所ニ返還スルコトヲ要ス

第二百一十七條 裁判所ハ抗告ヲ理由ナシトスルトキハ之ヲ却下シ其理由アリトスルトキハ戸籍吏ニ相當ノ處分ヲ命スルコトヲ要ス

抗告ヲ却下シ又ハ處分ヲ命スル裁判所ハ決定ヲ以テ之ヲ爲シ之ヲ戸籍吏及ヒ抗告人ニ送達スルコトヲ要ス

第二百一十八條 裁判所ノ決定ニ對シテハ法律ニ違背シタル裁判ナルコトヲ理由トスルトキニ限り民事訴訟法ノ規定ニ從ヒテ抗告ヲ爲スコトヲ得

第二百一十九條 抗告ノ費用ニ付テハ非訟事件手續法ノ規定ヲ準用ス

第九章 罰則

第二百二十條 本法ノ規定ニ依リ期間內ニ爲スヘキ届出又ハ申請ヲ怠リタル者ハ十圓以下ノ過料ニ處セラル

第二百二十一條 期間內ニ届出又ハ申請ヲ爲ササルニ因リ戸籍吏カ期間ヲ定メテ届出又ハ申請ノ催告ヲ爲シタル場合ニ於テ尙ホ其届出又ハ申請ヲ怠リタル者ハ二十圓以下ノ過料ニ處セラル二回以上戸籍吏ノ催告ニ應セサル者亦同シ

第二百二十二條 戸籍吏ハ左ノ場合ニ於テハ三十圓以下ノ過料ニ處セラル

一 正當ノ理由ナクシテ身分又ハ戸籍ニ關スル届出若クハ申請ヲ受理セザルト

二 身分登記又ハ戸籍ノ記載ヲ爲スコトヲ怠リタルトキ

第二百二十三條 戸籍吏ハ左ノ場合ニ於テハ十圓以下ノ過料ニ處セラル

一 正當ノ理由ナクシテ身分登記簿又ハ戸籍簿ノ閱覽ヲ拒ミタルトキ

二 正當ノ理由ナクシテ身分登記又ハ戸籍ノ謄本若クハ抄本ヲ交付セス又ハ身

分若クハ戸籍ニ關スル届出又ハ申請ノ受理ノ證明書ヲ交付セサルトキ
第二百十四條 本章ニ定メタル過料ノ裁判ハ過料ニ處セラルヘキ者ノ住所又ハ居所
ノ地ヲ管轄スル區裁判所之ヲ爲ス其裁判及ヒ裁判ノ執行ニ付テハ非訟事件手續法
ノ規定ヲ準用ス

第二百十五條 自己又ハ他人ノ利ヲ圖リ若クハ他人ヲ害スル目的ヲ以テ身分又ハ戸
籍ニ關シ詐僞ノ届出若クハ申請ヲ爲シタル者ハ十一日以上四年以下ノ重禁錮又ハ
二圓以上百圓以下ノ罰金ニ處セラル
附則

第二百十六條 市町村長ヲ置カサル地ニ於テハ市町村長ノ職務ヲ行フ吏員ヲ以テ戸
籍吏トシ其吏員ノ職務ヲ行フ役場ヲ以テ戸籍役場トス

市町村長ノ職務ヲ行フ吏員ノ事務ヲ代理スヘキ者ナキ地ニ在テハ監督區裁判所ヲ
管轄スル地方裁判所ノ長司法大臣ノ認可ヲ得テ豫メ其事務ヲ代理スヘキ者ヲ定ム
市參事會員其他戸籍吏ノ職務ヲ行フヘキ吏員ナキ地ニ於テ此等ノ者ニ代ハリテ戸
籍吏ノ職務ヲ行フヘキ者モ亦前項ノ手續ニ依リテ之ヲ定ム

第二百十七條 本法ノ規定ニ依リテ納付スル手数料ハ之ヲ市町村ノ收入トス但國庫
ヨリ戸籍役場ノ經費ヲ支辨スル地ニ在リテハ之ヲ國庫ノ收入トス
手数料ノ金額ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム
第二百十八條 本法ノ規定ニ依リ届出人其他ノ者ノ署名、捺印ヲ要スル場合ニ於テ

其者カ印ヲ有セサルトキハ署名スルヲ以テ足ル署名スルコト能ハサルトキハ名ヲ
代署セシメ捺印スルヲ以テ足ル若シ署名スルコト能ハス且印ヲ有セサルトキハ名
ヲ代署セシメ捺印スルヲ以テ足ル
前項ノ規定ニ依リ捺印セス又ハ名ヲ代署セシメ若クハ捺印シタル場合ニ於テハ書
面ニ其事由ヲ附記スルコトヲ要ス

第二百十九條 明治三十一年十二月三十一日マテハ從前登記目録トシテ備ヘタル帳
簿ヲ以テ身分登記簿ニ代用スルコトヲ得
第二百二十條 登記目録ノ冊數又ハ紙數カ身分登記簿ニ代用スルニ足ラサル場合ニ
於テハ明治三十一年十二月三十一日マテノ身分登記簿ニ限リ戸籍吏ハ第九條ノ規
定ニ拘ハラス登記目録ヲ作製スルト同一ノ手續ニ依リテ之ヲ作製スルコトヲ得
前項ノ規定ハ登記目録ノ設ナカリシ地ノ身分登記簿ニ之ヲ準用ス

第二百二十一條 本法ノ規定ニ依リ戸籍ヲ改製スヘキ時期ハ各地又ハ一般ニ付キ司
法大臣之ヲ定ム

本法施行後戸籍ノ記載ヲ爲シ又ハ新ニ戸籍ヲ編製スル場合ニ於テハ其記載又ハ編
製ニ付テハ本法ノ規定ニ從フコトヲ要ス但記載ヲ要スル事項ニシテ其事實ヲ知ル
コト能ハサルモノ又ハ從前ノ戸籍用紙中其事項ヲ記載スヘキ區畫ノ設ナキモノハ
其記載ヲ省クコトヲ得

第二百二十二條 明治四年四月四日布告戸籍法、明治十九年内務省令第十九號及ヒ

同年内務省令第二十二號ハ寄留ニ關スル規定ヲ除外本法施行ノ日ヨリ之ヲ廢止
シ其他ノ法令ニシテ本法ノ規定ニ抵觸シ又ハ重複スルモノハ同日ヨリ之ヲ廢止ス
寄留ニ關スル事務ノ監督ニ付テハ第五條ノ規定ヲ準用ス
第二百二十三條 本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

法律第十二號參照

明治十九年十月二日內務省令第十九號ハ出生死去出入等届出方及寄留者届出方ノ件、同年六月十日內務省令第二十二號ハ戶籍取扱手續ナリ

明治三十一年
法律第十五號
競 賣 法

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル競賣法ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

明治三十一年六月十五日

内閣總理大臣 侯爵伊藤博文
司法大臣 會禰荒助

龍頭註釋

競賣法ハ釋義ニ買チ
爲スノ法則ナリ
第一章 通則トハ
此法律全般ニ通用
スル概則ヲ云フ
第一條 競賣ハ高
價ニ賣ルチ目的ト
ス
第二條 競落トハ
買ヒ落ルチ云フ留
置權者トハ留置權
ヲ權利アル者チ云
フ競買人ハ其競賣
物ニ對シ債權アル
者ニ辨償シタル後
物件ヲ受取ルチ得
ルナリ
第三條 動産ノ競
賣「動産トハ地所
建物船舶ノ外一切
ノ物品ヲ云フ競賣
ハ其地ヲ管轄スル
區裁判所ニ屬スル
執達吏ニ委任狀ヲ
渡シテ爲ス者トス

法律第十五號

競賣法

第一章 通則

第一條 競買ノ申込ハ他ノ高價競買ノ申込アリタルトキ又ハ競落ヲ爲サスシテ競賣ヲ終了シタルトキハ當然其效力ヲ失フ

第二條 競買人ハ競落ニ因リテ競賣ノ目的タル權利ヲ取得ス

競賣ノ目的ノ上ニ存スル先取特權及ヒ抵當權ハ競落ニ因リテ消滅ス
競買人ハ留置權者、競賣人ニ對シテ優先權ヲ有スル質權者及ヒ其質權者ニ對シテ優先權ヲ有スル債權者ニ辨償スルニ非サレハ競賣ノ目的物ヲ受取ルコトヲ得ス

第二章 動産ノ競賣

第三條 動産ノ競賣ハ留置權者、先取特權者、質權者其他民法又ハ商法ノ規定ニ依リテ其競賣ヲ爲サントスル者ノ委任ニ因リ競賣ヲ爲スヘキ地ノ區裁判所所屬ノ執達吏之ヲ爲ス
前項ノ委任ハ書面ニ依リテ之ヲ爲スコトヲ要ス

第四條 競賣ノ委任ヲ受ケタル執達吏ハ競買者タルヲ得サルモノトス債權者トハ其競賣物ニ對シ債權アル者ヲ云フ提供トハ差出シ置ケテ云フ第六條 競賣日時ハ別ニ事情ガナケレバ執達吏ハ速ニ之ヲ定ムルナリ第七條 競賣場所日時ノ公告ハ其物ノ買下價格ト見計ラヒ新聞紙ニ出ストカ又ハ其他相當ニ之ヲ爲スモノトセリ別段ノ條件付テナケレバ最高價ノ買手ガ代金ヲ支拂テ品物ヲ引取メトキハ更ニ競賣スル等民訴第五七七條三項ノ規定ヲ適用スルナリ第八條 競賣ノ場

所ト日時トハ其競賣物ニ對シ利益ノ係リ合アル者ニ通知スル者トス利害關係人トハ第七七七條第二項ノ第一號乃至第四號ニ掲ケタル者ヲ云フ第九條 競賣ハ特別ニ早クセテバナラズ事情ナキ限りハ公告シテヨリ五日ヲ隔テト爲スモノトス第十條 高價品ハ目利人ニ値アミセシメテ其價額ヲ定メ之ヲ爲ス第十一條 定リ相場アルモノハ相場以下ニ競賣スルヲ得ス第十二條 競買申込人ノナキハ相場以上ノ代價ニテ執達吏ハ隨意ニ賣却スルヲ得

第四條 競賣ノ委任ヲ受ケタル執達吏ハ其競買人ト爲ルコトヲ得ス債權者ノ委任ニ因リテ競賣ヲ爲ス場合ニ於テハ債務者ハ現金ヲ以テ代價ヲ提供スルニ非ザレハ其競買ノ申込ヲ爲スコトヲ得ス第五條 競賣ハ競賣ニ付スヘキ物ノ現在地ニ於テ之ヲ爲ス但其地ニ於テ相當ノ代價ヲ得ル見込ナキトキハ他所ニ於テ之ヲ爲スコトヲ得第六條 競賣ノ日時ハ執達吏カ其委任ヲ受ケタルトキ直チニ之ヲ定ムルコトヲ要ス但直チニ之ヲ定ムルコト能ハサル事情アルトキハ此限ニ在ラス第七條 競賣ノ場所及ヒ日時ハ豫メ之ヲ公告スルコトヲ要ス公告ハ競賣ニ付スヘキ物ノ品質及ヒ價格ニ準シ競賣地ニ於ケル適當ノ方法ヲ以テ之ヲ爲スヘシ公告ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ一 競賣委任者ノ氏名、住所二 競賣ニ付スヘキ物ノ種類、數量及ヒ品質三 競賣ノ條件ヲ定メタルトキハ其條件四 競賣ノ場所及ヒ年月日時五 競賣ノ委任ヲ受ケタル執達吏ノ氏名、住所委任者カ競賣ノ條件ヲ定メサリシトキハ民事訴訟法第五百七十七條第三項ノ規定ヲ適用ス

第八條 競賣ノ場所及ヒ日時ハ競賣ニ付キ利害ノ關係ヲ有スル者ニ對シテ其通知ヲ發スルコトヲ要ス但通知ヲ受クヘキ者ノ住所又ハ居所カ知レサルトキハ此限ニ在ラス第九條 公告ト競賣トノ間ニハ五日以上ノ期間ヲ存スルコトヲ要ス但競賣ニ付スヘキ物ニ關シ之ヨリ速ニ競賣ヲ爲スコトヲ要スル特別ノ事情アルトキハ此限ニ在ラス第十條 高價品ノ競賣ハ鑑定人ヲシテ其評價ヲ爲サシメタル後之ヲ爲スコトヲ要ス第十一條 金銀及ヒ金銀ノ製品ハ地金銀ノ相場以下ノ代價ヲ以テ之ヲ競賣スルコトヲ得ス第十二條 取引所ノ相場アル物ハ其相場以下ノ代價ヲ以テ之ヲ競賣スルコトヲ得ス第十三條 前條ニ掲ケタル物ヲ競賣スル場合ニ於テ競賣ノ日ニ相當ナル競買ノ申込ナキトキハ執達吏ハ金銀及ヒ金銀ノ製品ニ付テハ地金銀ノ相場以上ノ代價、取引所ノ相場アル物ニ付テハ競賣ノ日ノ相場以上ノ代價ヲ以テ任意ニ之ヲ賣却スルコトヲ得第十四條 競賣ハ其條件ヲ告知シ各競賣物ニ付キ競買ノ申込ヲ催告スルニ始マリ最高價競買ノ申込人ニ對シ競落ノ告知ヲ爲スニ因リテ終了ス競落ノ告知ハ最高價競買ノ申込ヲ三回呼上ケタル後之ヲ爲ス第十四條 執達吏ハ競賣調書ヲ作り之ニ左ノ事項ヲ記載シ署名、捺印スヘシ

第十三條 此條ハ
競賣ノ始メト終リ
ヲ明ニ示シタルモ
ノナリ備告トハ備
カシテ告知コト即
チ勸ムルノ意ヲ含
ムモノナリ
第十四條 執達吏
ハ競賣ニ係ル調書
ヲ作リテ其各事項
ヲ明カニ記載シ自
身之レニ名ヲ書シ
印ヲ捺シ委任者ニ
モ名ヲ書シ印ヲ捺
サシメ証據書類及
委任狀ヲ添ヘ置ク
モノトス
第十五條 賣得金
トハ賣代金ナリ控
除トハ引去ルナリ
供託トハ中央金庫
ニ預ケ置クナリ
第十六條 執達吏
ハ正副二通ノ計算
書ヲ作ルコト
第十七條 完結ト
ハ全ク結ルヲ云フ

異議ノ申立トハ故
障ヲ申出ルヲ云フ
異議ノ申立ニ對ス
ル裁判言渡ニ對シ
テハ上訴抗告等ヲ
許サス
善意トハ惡意ナキ
ノ謂ヒナリ
第十八條 停止ノ
爲メニ非常ナル損
害ノナキ限りハ裁
判所ヨリ競賣ヲ差
止メ得ルナリ
第十九條 第三者
トハ競賣競買兩者
以外ノ各人ヲ云フ
モノニシテ普通ノ
法律語ナリ續行ト
ハ引續キ爲スナリ
第二十條 停止中
物件保管ノ爲メノ
費用等ハ委任者ノ
負擔トス
第二十一條 競賣
取消ノ費用モ委任
者ノ負擔トス
第二十三條 不動

一 競賣委任者ノ氏名、住所
二 競賣ニ付スヘキ物ノ種類、數量及ヒ品質
三 鑑定人ヲシテ評價ヲ爲サシメタルトキハ其評價額
四 競賣ノ場所及ヒ日時
五 第九條但書ノ事由アリタルトキハ其事由
六 利害ノ關係ヲ有スル者ニ通知ヲ發シタルコト若シ之ヲ發セザリシトキハ其
事由
七 告知シタル競賣ノ條件
八 各競賣物ニ對スル競落人ノ氏名及ヒ其申込價額
九 競賣ヲ停止シタルトキ又ハ競落ヲ爲サザリシトキハ其事由
十 競賣ノ開始及ヒ完結ノ日時
十一 競賣調書ヲ作リタル場所及ヒ年月日
十二 競賣調書ニハ委任者又ハ其代理人ヲシテ署名、捺印セシメ且競賣ノ公告ヲ爲シ及
ヒ通知ヲ發シタルコトヲ證スル書面及ヒ委任狀ヲ添附スルコトヲ要ス
十三 執達吏ハ委任者ノ請求ニ因リ競賣調書ノ謄本ヲ交付スルコトヲ要ス
第十四條 執達吏ハ競賣ノ完結後賣得金ノ中ヨリ競賣ノ費用ヲ控除シ其殘金及ヒ競
落セザリシ物ハ遲滞ナク之ヲ受取ルヘキ者ニ交付シ又ハ其者ノ爲メニ之ヲ供託ス
ルコトヲ要ス

第十六條 執達吏ハ競賣ニ付キ正副二通ノ計算書ヲ作リ其正本ハ計算ニ關スル證明
書ト共ニ之ヲ委任者ニ交付シ其副本ハ之ヲ競賣調書ニ添付スヘシ
第十七條 競賣ニ付キ利害ノ關係ヲ有スル者ハ競賣ノ完結ニ至ルマテ其手續ニ關ス
ル執達吏ノ處分ニ付キ其所屬區裁判所ニ異議ノ申立ヲ爲スコトヲ得
異議ノ裁判ハ申立人ニ之ヲ通知スヘシ此裁判ニ對シテハ不服ヲ申立ツルコトヲ得
異議ノ裁判ハ之ヲ以テ善意ノ競落人ニ對抗スルコトヲ得ス
第十八條 前條ノ規定ニ依リテ異議ノ申立アリタルトキハ裁判所ハ競賣ノ停止ヲ命
スルコトヲ得但停止ニ因リテ著シキ損害ヲ生スル虞アルトキハ此限ニ在ラス
第十九條 第三者カ競賣ノ目的物ニ關シテ訴ヲ提起シタルコトヲ證明シタルトキハ
執達吏ハ其競賣ヲ停止スルコトヲ要ス
第二十條 物ノ保管ニ付キ過分ノ費用ヲ要スルトキ又ハ遲滞ノ爲メ著シク物ノ價格ヲ減少ス
ル虞アルトキハ執達吏ハ競賣ヲ續行シテ賣得金ヲ供託スルコトヲ得
第二十一條 前二條ノ規定ニ依リテ競賣ヲ停止シタル場合ニ於テハ執達吏ハ相當ノ方
法ヲ以テ競賣ノ目的物ヲ保管スルコトヲ要ス此場合ニ於ケル競賣手續及ヒ保管ノ
費用ハ委任者ノ負擔トス
第二十二條 競賣ノ委任ハ競落ノ告知アルマテ之ヲ取消スコトヲ得
前項ノ場合ニ於ケル競賣手續ノ費用ハ委任者ノ負擔トス

第三十條 不動産ノ競賣期日、開始、競賣調書終局ノ告知等ハ總テ民事訴訟法ノ規定ヲ適用スルモノトス

第三十一條 不動産ノ競賣ハ動産ト異ナリ競買人ナキハ更ニ之ヲ爲ス

第三十二條 民事訴訟法第六〇條ハ競落ノ期日ハ競賣ノ期日ヨリ七日以内ニ裁判所ニ開クモノナルヲ定メタルナリ

競落手續等此條第二項ニ揭示ノ各件ハ總テ民事訴訟法第二〇九條ノトス

第三十三條 代價トハ競賣物ノ代價ナリ權利ノ移轉ノ登記トハ其所有權ガ競落人ニ移リタル事ヲ登記所ノ登記簿ニ登記スルヲ云

第三十四條 公告以前ニ申立アレハ競賣ヲ爲サシテ民事訴訟法第七〇三條乃至第七〇五條ノ手續ヲ以テ入札拂ヲ爲スヘキモノトス

第三十五條 前條ノ入札拂ヲ爲シタル中ノ第七〇七條ニヨリ登記所ニ登記簿ニ抹消即チ塗リ消ヲ囑託スヘキモノトス

第三十六條 船舶ノ競賣ハ難破等ノ爲メニ爲ス場合最モ多シ故ニ其當時ノ碇泊港又ハ現在地ノ區劃所ニ於テ爲スヲ便トス

第三十七條 船舶ハ登記所ノ登記ヲ受ケタルモノニ非サレハ船舶トシテ競賣スルヲ得サルカ故ニ其競賣ニハ登

額ヲ以テ最低競賣價額トスヘシ

第二十九條 競賣期日ノ公告ニハ第二十二條ニ掲ケタル者ノ申立ニ因リテ競賣ヲ爲ス旨ノ外民事訴訟法第六百五十八條第一號乃至第三號、第五號乃至第七號、第九號及ヒ第十號ニ掲ケタル事項ヲ記載スルコトヲ要ス

民事訴訟法第六百六十一條ノ規定ハ前項ノ公告ニ之ヲ準用ス

第三十條 競賣期日、其開始、競賣調書及ヒ競賣終局ノ告知ニ關スル民事訴訟法第六百五十九條第六百六十二條乃至第六百六十九條ノ規定ハ本章ノ競賣ニ之ヲ準用ス

第三十一條 競賣期日ニ相當ノ競買申込ナキトキハ裁判所ハ更ニ期日ヲ定メテ競賣ヲ爲スヘシ此場合ニ於テハ民事訴訟法第六百七十條ノ規定ヲ準用ス

第三十二條 競落期日ハ民事訴訟法第六百六十條ノ規定ニ從ヒ裁判所ニ於テ之ヲ開ク

競落ノ手續、競落ヲ詐ササル場合ノ新競賣期日、競賣ノ履行及ヒ競落人ノ義務不履行ノ場合ニ於ケル再競賣ニ關スル民事訴訟法第六百七十一條乃至第六百七十四條、第六百七十六條乃至第六百八十三條、第六百八十七條及ヒ第六百八十八條ノ規定ハ本章ノ競賣ニ之ヲ準用ス

第三十三條 競落人ハ競落ヲ許ス決定力確定シタル後直チニ代價ヲ裁判所ニ支拂フコトヲ要ス此場合ニ於テハ裁判所ハ其裁判ノ謄本ヲ添へ競落人カ取得シタル權利ノ移轉ノ登記ヲ管轄登記所ニ囑託スヘシ

裁判所ハ前項ノ代價ノ中ヨリ競賣ノ費用ヲ控除シ其殘金ハ遲滯ナク之ヲ受取ルヘキ者ニ交付スルコトヲ要ス

第三十四條 裁判所ハ競賣期日ノ公告ヲ爲ス前申立ニ因リ競賣ニ代ヘテ入札拂ヲ爲スヘシ此場合ニ於テハ民事訴訟法第七百三條乃至第七百五條ノ規定ニ依ル外本章ノ規定ヲ準用ス

第三十五條 競落ヲ爲サシテ競賣手續ヲ完結シタルトキハ裁判所ハ第二十六條ノ規定ニ依リテ爲シタル登記ノ抹消ヲ囑託スヘシ

第四章 船舶ノ競賣

第三十六條 登記シタル船舶ノ競賣ハ申立ニ因リ其當時ノ碇泊港又ハ船舶ノ現在地ヲ管轄スル區裁判所之ヲ爲ス

第三十七條 競賣ノ申立書ニハ船舶所有者並ニ船長ノ氏名、住所、船舶ノ表示及ヒ競賣ノ原因ヲ記載シ且船舶登記簿ノ謄本及ヒ官ノ認可ヲ要スル場合ニ於テハ其認可ヲ得タルコトヲ證スル書面ヲ添附スルコトヲ要ス

第三十八條 競賣期日ノ公告ニハ申立ニ因リテ競賣ヲ爲ス旨ノ外船舶ノ表示及ヒ其碇泊港又ハ現在ノ場所ヲ記載スルコトヲ要ス

第三十九條 前章ノ規定及ヒ民事訴訟法第七百十九條、第七百二十條第二項、第七百二十三條、第七百二十五條ノ規定ハ船舶ノ競賣ニ之ヲ準用ス

第五章 増價競賣

記簿ノ謄本ヲ添ル
テ必要トセル也
第廿八條 船舶ハ
其申立事項ノ外ニ
船舶ノ表示碇泊港
名現在場所ヲ記載
スルヲ必要トセリ
民訴中船舶ノ強制
競賣ニ關シ此條及
七次ニ掲ケタル條
項ハ船舶ノ競賣ニ
適用スルモノトス
第廿九條 増價競
賣トハ抵當ニ爲シ
テアル不動産ノ價
ヲ増シテ競賣ヲ爲
スヲ云フ
第四十條 第三取
得者ニ其競賣請求
書ヲ送リタル日ヨ
リ三日以内ニ區裁
判所ヘ申立ヲ爲シ
並ニ擔保即チ引請
ニ就テノ認許ヲ求
メサル時ハ競賣ノ
請求ハ無効ナリ
第四十一條 此條
ハ申立書ニ記載ス

ハキ事項ヲ列示シ
タルモノナリ此條
ニ掲ケタル民事訴
訟法第六四三條ノ
各款ハ不動産ノ強
制競賣ノ申立書ニ
添付スヘキ証書ヲ
示シタルモノナリ
第四十二條 擔保
ノ裁判ハ終審ニシ
テ之ニ對シテ上訴抗
告ヲ爲スコトヲ得ス
第四十三條 擔保
ヲ認許セラレサル
裁判アルトキハ其
競賣ノ請求ハ無論
無効ニ歸スルモノ
トス然レモ自他ノ
債權者ハ競賣ノ申
立ヲ爲シ得ルナリ
第四十四條 擔保
ヲ認許シタルトキ
ハ競賣手續ヲ始ム
ルモノトス
第四十五條 第廿
七條ヲ參看スヘシ
此條ハ利害關係人
ヲ定メタル者ナリ

第四十條 民法第三百八十四條ノ規定ニ依リテ抵當不動産ノ増價競賣ヲ請求スル債權者ハ第三取得者ニ競賣ノ請求ヲ送達シタル日ヨリ三日内ニ抵當不動産所在地ノ區裁判所ニ競賣ノ申立ヲ爲シ且擔保ノ認許ヲ求ムルコトヲ要ス
前項ノ規定ニ依ラサル競賣ノ請求ハ無効トス
第四十一條 競賣ノ申立書ニハ左ノ事項ヲ記載シ請求債權者之ニ署名捺印スヘシ
一 債務者ノ氏名、住所
二 抵當不動産ノ表示
三 第三取得者及ヒ讓渡人ノ氏名、住所
四 擔保ノ表示
五 第三取得者カ提供シタル金額
六 請求者カ定メタル増價金額
七 年月日
八 裁判所
申立書ニハ民法第三百八十三條ノ送達ヲ受ケタル日ヲ證スル書面ヲ添附スルコトヲ要ス
民事訴訟法第六四三條第一項第三號乃至第五號、第二項及ヒ第三項ノ規定ハ本條ノ申立ニ之ヲ準用ス
第四十二條 裁判所ハ擔保ノ許否ニ付キ期日ヲ定メ決定ヲ以テ其裁判ヲ爲スヘシ

期日ニハ請求債權者及ヒ第三取得者ヲ呼出タスヘシ
擔保ノ裁判ニ對シテハ不服ヲ申立ツルコトヲ得ス
第四十三條 競賣ノ請求ハ擔保ヲ認許セサル裁判ニ因リテ當然其效力ヲ失フ
民法第三百八十四條ニ定メタル期間内ニ第三取得者ニ對シテ競賣ノ請求書ヲ送達シタル他ノ債權者ハ前項ノ裁判アリタル日ヨリ三日内ニ第四十條ノ申立ヲ爲スコトヲ得
第四十四條 裁判所カ擔保ヲ認許シタルトキハ競賣手續ノ開始ノ決定ヲ爲スヘシ
決定ニハ認許シタル擔保ヲ表示シ且第四十一條第一項第一號乃至第三號、第六號及ヒ第七號ニ掲ケタル事項ヲ記載スヘシ
第二十五條第二項第三項及ヒ第二十六條第一項ノ規定ハ本條ノ決定ニ之ヲ準用ス
第四十五條 第二十七條第一項及ヒ第二項ノ規定ハ増價競賣ニ之ヲ準用ス
左ニ記載シタル者ヲ利害關係人トス
一 競賣請求者
二 債務者
三 第三取得者及ヒ讓渡人
四 登簿記ニ登記シタル不動産上ノ權利者
五 不動産上ノ權利者トシテ其權利ヲ證明シタル者
第四十六條 競賣ノ公告ニハ増價競賣ノ申立ニ因リテ競賣ヲ爲ス旨及ヒ請求者ノ定

第四十六條 此競賣ノ公告ニハ其主目ト請求者ノ定メタル増價ノ金額並ニ民訴第六五八條中此ニ掲ケタル各號ノ事項ヲ記載スルモノトス

第四十七條 請求者ノ定メタル増價金額ニ達スル時ハ其人ナキ時ハ其請求者ヲ競落者ト爲ス

ノ競買者アリタルニ天災其他ノ事變ヨリ競買取消ニ至リタル場合ニハ裁判所ハ更ニ競賣ノ公告ヲ爲ス者トス

競落代價ノ完済トハ代金ノ全ク受渡濟タルヲ云フナリ

第四十八條 競賣請求者ヨリ申立テレバ民事訴訟法第七〇三條乃至第七〇五條ニ準據シテ競賣ノ代リニ入札拂テ爲スヘシ

附則

メタル増價金額ノ外民事訴訟法第六五十八條第一號乃至第三號、第五號、第七號第九號及ヒ第十號ニ掲ケタル事項ヲ記載スヘシ

第三十三條及ヒ民事訴訟法第六百五十九條乃至第六百六十九條、第六百七十一條乃至第六百七十四條、第六百七十六條乃至第六百八十三條、第六百八十七條ノ規定ハ本章ノ競賣及ヒ競落ノ手續ニ之ヲ準用ス

第四十七條 競賣期日ニ請求債權者カ定メタル増價金額ニ達スル競買ノ申込ナキトキハ請求債權者ヲ以テ競落人トス

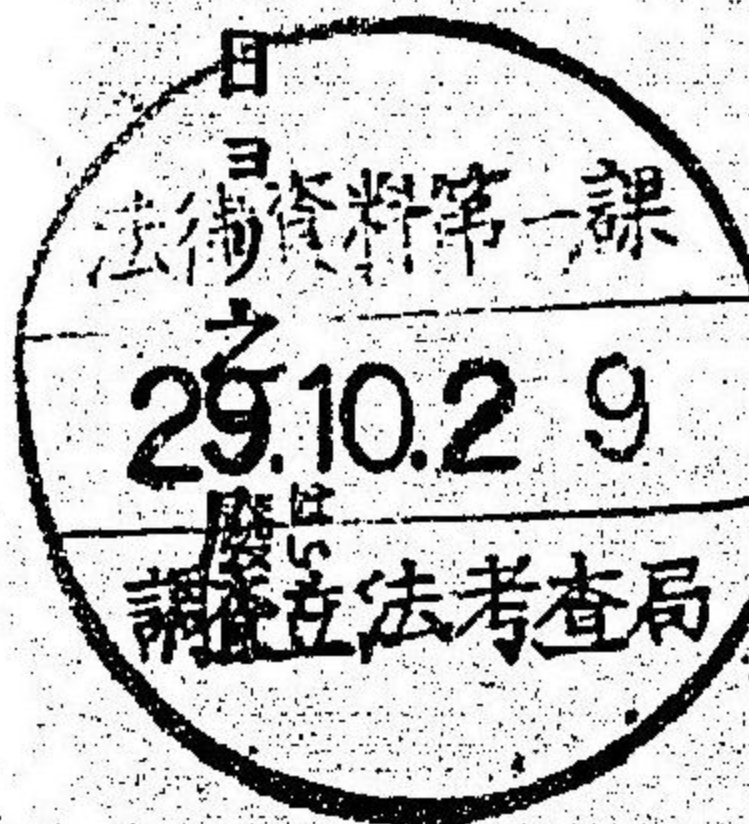
民事訴訟法第六百七十八條ノ規定ニ依リ最高價競買人カ其競買ヲ取消シタルトキハ裁判所ハ更ニ競賣期日及ヒ競落期日ヲ定メテ之ヲ公告スルコトヲ要ス

第四十八條 増價競賣ノ擔保ハ競落代價ノ完済ニ因リテ其效力ヲ失フ

第四十九條 裁判所ハ競賣請求者ノ申立ニ因リ競賣ニ代ヘテ入札拂テ爲スヘシ此場合ニ於テハ民事訴訟法第七百三條乃至第七百五條ノ規定ニ依ル外本章ノ規定ヲ準用ス

第五十條 本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第五十一條 明治二十三年法律第九十二號増價競賣法ハ本法發布ノ日ヨリ施行ス



明治三十一年六月二十八日印刷
 明治三十一年七月 日發行

定價金十錢



編纂者 藤田 治明
 東京市四ツ谷區愛住町二十番地

發行者 松成 保太郎
 東京市淺草區茅町二丁目五番地

發行所 松成 堂
 常州 武鍋町

發行所 寺田 清兵衛
 東京市淺草區黑船町二十八番地

印刷人 行川 敬三
 東京市淺草區黑船町二十八番地

印刷所 東京並木活版所

松成堂出版

東京市淺草區茅町二丁目
五番地電話浪花百六十三番

須原屋 松成保太郎

纂輯御系圖

有栖川宮 顯正 合本全八冊
福羽美靜 校正 正價金三圓五拾

紙入上紙刷合本全八冊正價金五圓
奉書刷絹表紙同裏十六冊正價金五拾圓
奉書刷銀子表紙同裏十六冊正價金五拾圓
高百圓繪箱入銀子表紙同裏十六冊正價金五拾圓
島ノ子紙刷表紙同裏十六冊正價金五拾圓
六所立大判全十六冊正價金三百圓也

歌學新論

物集高見著 全壹冊 正價金八錢

紀元節歌乃解

高崎正風口述 阪正臣筆記 全壹冊 正價金五錢

東京教育婦女鏡

高崎正風合著 物集高見著 全壹冊 正價五十錢

列女かゝみ

金桂女史著 全三冊 正價三十錢

日本道德原論

野中半著 全二冊 正價廿五錢

葎屋文集

物集高見著 全一冊 正價三十錢

葎屋文集

物集高見著 全一冊 正價三十錢

大義太夫本

上紙上摺 全一冊 正價三十錢

四書和綴上紙

全十冊 正價一圓五拾錢

東京文證大全 和紙 青木輔清著述 全二冊 正價一圓廿錢

小學口用文全 卷葉澤編輯并 全一冊 正價拾五錢

年中教育小兒遊戲全 長谷信道著 全二冊 正價拾五錢

市町村制正解 洋裝 高木守三郎解 全一冊 正價二拾錢

相利重寶算 和紙 中根定助著 全一冊 正價拾錢

新撰塵功記 和紙 松成堂編輯所 全一冊 正價拾錢

便利割早見 和紙 中根定助著 全一冊 正價貳拾五錢

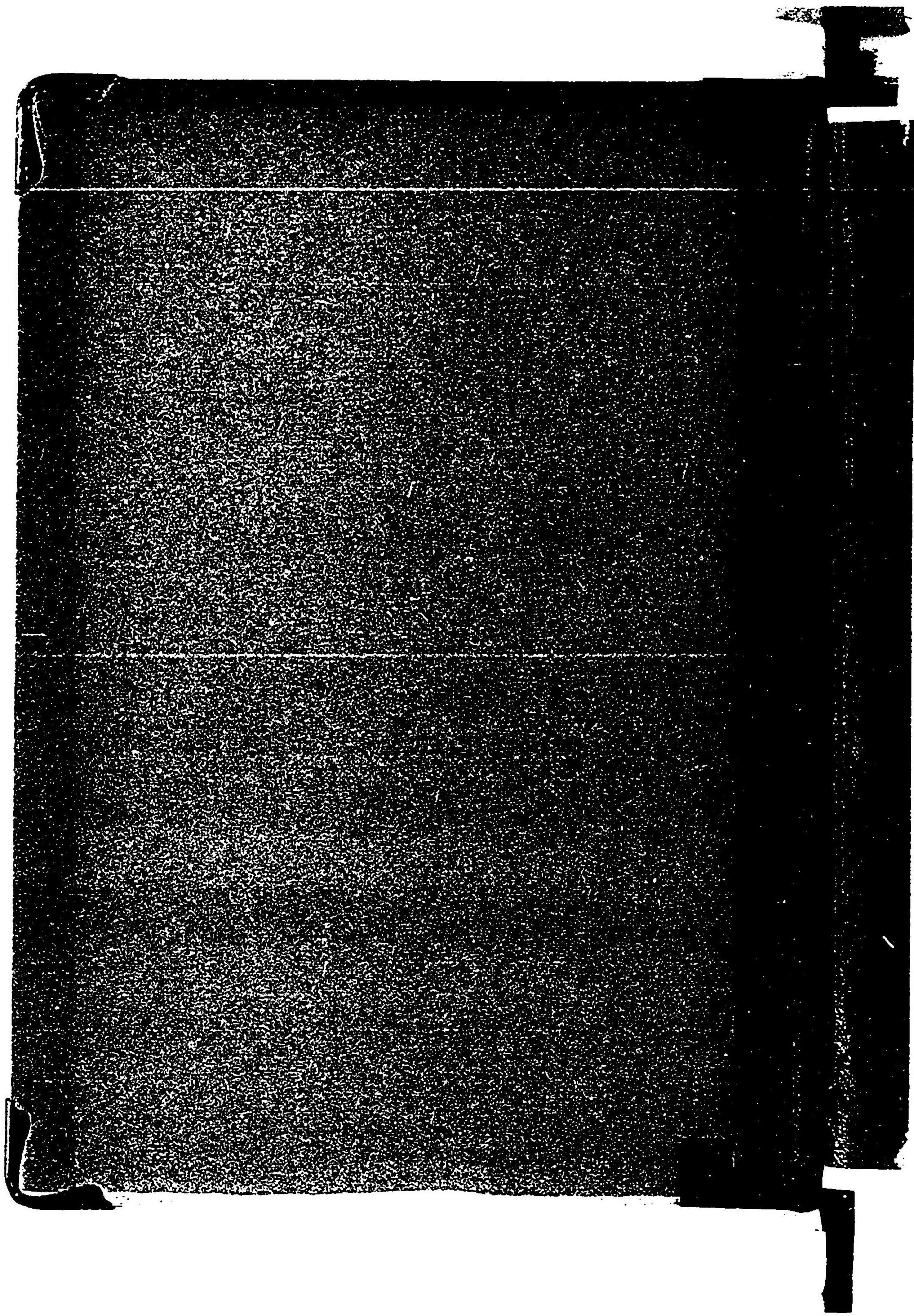
英文法學 洋裝 篠野乙二郎合著 全三冊 正價一圓六十錢

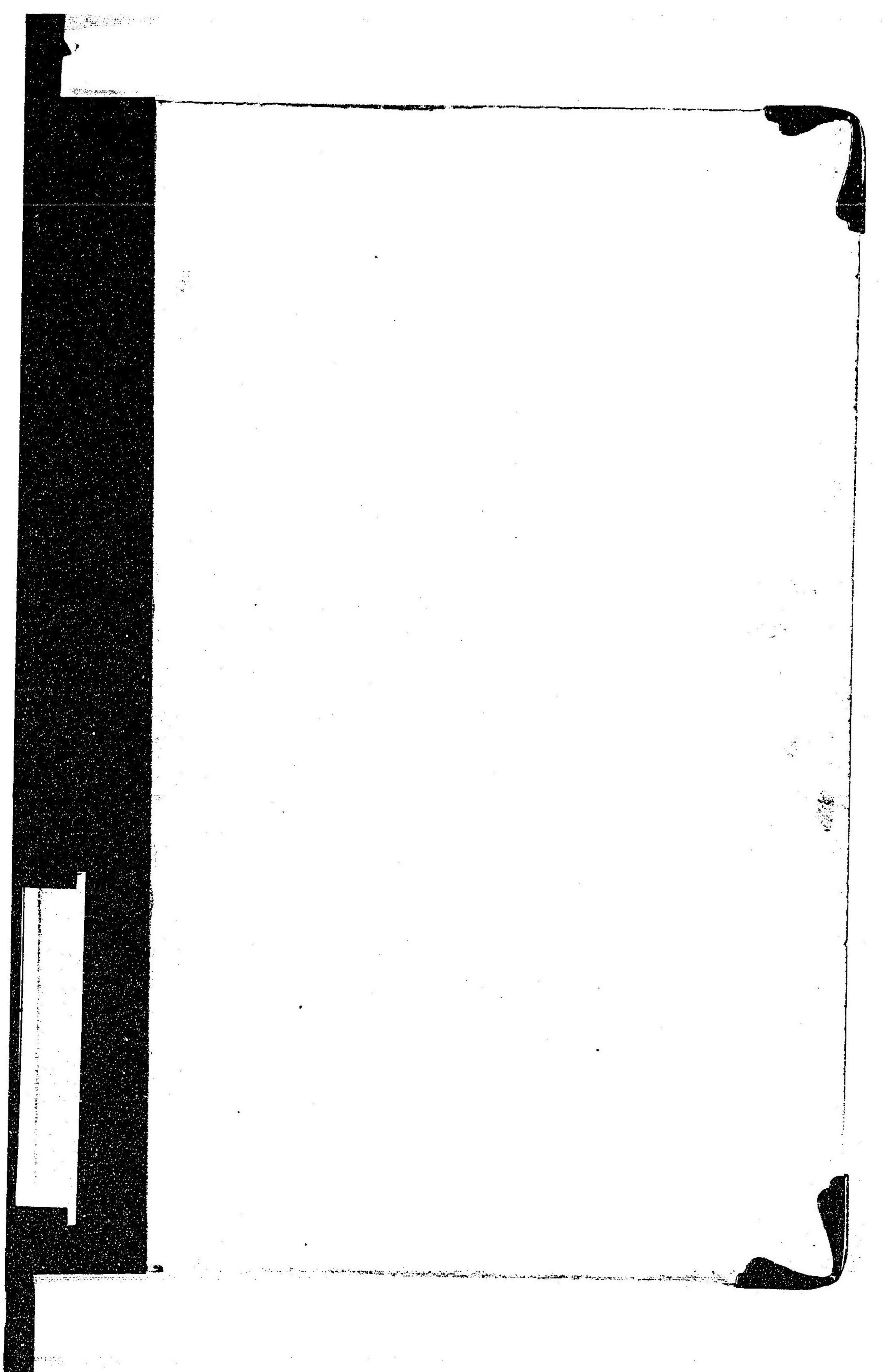
特許意匠標登錄案內 洋裝 特許局員木島孝藏著 全一冊 正價二十五錢

改商 附施行細則 局藏版 全一冊 正價三十五錢

特許意匠標及施行細則 全一冊 正價二十五錢

由井天理奇數術全 長內文次郎編 全一冊 正價七十五錢





324.87

H963k

戸籍法・競売法俗解

国立国会図書館

034582-000-5

324.87-H963k

戸籍法・競売法俗解

藤田 治明 / 編

M31

BBM-0098



